ルポ資源大陸アフリカ

著者名	白戸圭一	発行年	2009年
出版社名	東洋経済新報社	ページ数	307ページ
値段	1,995円	ISBN	978-4492211823
コメント	あの灼熱と混乱の大地で、危険な取材をあまた重ね、自ら体験したことだけをたんたんと記録に書き綴ってゆく。新聞記者としての誠実さがしみこんだ一冊。 77ページの左側の女の子、忘れがたい。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ボム ☆☆☆	こうして私が研究室でコメントを書いている今、同じ時間に、アフリカではどこかで少女達が売り飛ばされているのだろう。 映画「闇の子供たち」を思い出しました。 それにしても著者は取材のためとは言え、勇気があるなぁと思いました。			
	1-80	80P (60分)		2010/08/11 13:52:05
ポチ ☆☆☆	とても重い本です。 中学や高校の歴史の時間では、「マンデラ大統領の時代になって、南アフリカのアパルトヘイト政策は終わりを告げました」「めでたしめでたし」と習ったけれど、全然めでたしめでたしではなかったという現実。 良かれと思ってしたことが、多くの人々の不幸を招き、これからもそれは続くだろうということは、やりきれないけど知っておかなければならないと思います。			
	pp. 9-79, 305-315	82P (120分)		2010/08/09 11:10:27
1412 ☆☆☆☆☆	犯罪者へのインタビューからアフリカの現状が語られる。人身売買の話はとてもいやな気分になった。			
	1-307	307P (200分)		2010/06/07 12:28:57
富士駿河 ☆☆☆	歩いても歩いても、厚い雲が一面に広がっていた。 読んだ感想はそのような感じ。 誰が一番悪いのか、解決策は何か、手がかりが全くない。 ただ、アフリカの人々の話を聞くだけである。			

	それにしても、危険を顧みずインタビューをした著者はかなりすごいと思う。			
	9-79ページ	71P (55分)	特になし	2010/05/29 19:31:20

おれ ☆☆	もうすぐワールドカップが開かれる南アの光と影。 民主化後も拡大していく格差と犯罪。			
	1-80P、185-244P	140P (180分)	1-80	2010/05/17 22:19:46

あるみ ☆☆☆☆☆	こんなこと、全然知らなかった。 こんな世界があることを、こんな生活をしている人々がいることを、知らずに生きてきたのだと認識させられました。 貧困、格差、暴力、犯罪、何もかもが想像を絶するくらいにひどい。 自分が売春宿に売った少女たちを見せて笑う人身売買人。 世の中の混乱を持続させたいという理由で何の関わりもない一般人を虐殺して回る武装集団。 しかし彼らを非道と思っても、それを責めることすら自分にはできない。 国に守られ、法に守られ、社会に守られて生きている私には、彼らを責める資格はない。 是非この本を多くの人に読んでほしい。アフリカで起きていることを、知ってほしい。 全ては知るところから始まる。 私は、知った。知った上で何ができるか、考えなくてはならないと思う。			
	all	322P (210分)	81-111ページ	2010/05/11 12:42:20

オレンジ ☆☆☆☆☆	毎日新聞の特派員としてヨハネスブルクに派遣された筆者が、当時のアフリカの様子を取材し記録したもの。 筆者が実際に現地に行って取材したものばかりであり、リアルなアフリカを知ることができる素晴らしい1冊。 武装集団などにも果敢に取材していく筆者にはただただ感心するばかりである。 貧しいといわれているアフリカだが、この本を読んで「こんなに酷いのか」と悲しくなった。 同時に、貧困が人々を不幸にしていることを認識させられた。 一方で、武装集団がハイテク機器を用いていることには正直驚いた。 日本人にとってアフリカは遠い存在だが、先進国の一員として、この現状を直視しなければならないと思う。 同じ地球上に生まれながらこんなにも苦労して生活している人がまだこんなにもたくさんいる現実に、自分のいる環境がいかに恵まれているか改めて認識させられる。 是非読むことをオススメします。 あなたの想像以上の惨劇がアフリカでは起こっています。			
	pp.9-322	314P (270分)	全て	2010/05/10 17:47:11

TOPへ

中国 巨大国家の底流

著者名	興梠一郎	発行年	2009年
出版社名	文藝春秋	ページ数	308ページ
値段	1,680円	ISBN	978-4163720104
コメント	おとなりさんだし、昔っから日本の先生だし、興味しんしんの大国。 近すぎるゆえか、各論林立、全体不明というワナにはまりがちでなかなか良い本にめぐりあえずに来ましたが、さて今期はどうでしょうか。 ジャーナリスティックなとっつきやすさと最新情報が取り柄、と見たのですが。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
かーたか ☆☆	こんだけしか読んでないのに評価を下すとはなんとも無礼だとは思います。ごめんなさい。 この本でもあまり理解できなかったが、 他にも旅行でも行ったことあるし、中国人の留学生とも話したりするが、やはり中国の体制、社会主義体制は分からない。			
	1-40	40P (30分)		2010/08/18 23:19:11
ボム ☆☆☆☆	中国に興味があったので借りたのですが、意外と難しいと思いました。しかし、メラミンの話は大変興味深かったです。ちょっと中国の牛乳とか粉ミルクとか、他の食品も怖くなりました。			
	154-174,248-260	32P (20分)	156	2010/08/05 14:14:09
1412 ☆☆☆☆☆	今までは政府による情報統制のために民衆は正確な情報を得る事ができなかったが、インターネットの発達により民衆も正確な情報を得る事ができる。現在、中国の人口１３億人に対して、中国のネットユーザは３億人らしい。これからインターネットを利用できる人が増えていけば、中国で目に見えるほどの変化が起こるのだろうか。			
	1-308	308P (150分)		2010/07/27 11:56:10
ushiushi ☆☆	中国のこと知りたいなと思って初めから読んだが、数字やグラフが多くて今回は断念。もっと気合いを入れないと無理そう。			
	1-30	30P (40分)		2010/06/22 12:59:26
	チベットについての章を読みました。			

たざわ ☆☆	歴史認識の違いは、とても恐ろしいことを引き起こしてしまうんだなと感じました。 もう少し筆者の主張を入れてほしかったなと思います。			
	72-107	36P (30分)		2010/06/18 14:23:09

つて ☆☆☆☆☆	なんで共産主義国家ってここまで独裁制になるのか、なんで独裁は汚職を引き起こすのか、その原因が少しわかった。			
	5-108,175-317	245P (120分)	8章	2010/06/01 12:19:18

上場亮 ☆☆☆☆	中国は国家を挙げてのパクリ産業、醤油も髪の毛から作ってる、というブラックな情報しかなかったが、国民のナショナリズムなど意外な情報が詰まっていておもしろかったです。			
	全部	308P (180分)	第六章	2010/05/17 21:42:31

mnts ☆☆☆☆	この本を読む限り、他国人ながら中国政府のあり方には反感を感じざるを得ない。 何より情報が統制されることへの恐ろしさを感じた。 当然のように政府が情報を統制している中国の構造が恐ろしい。			
	72-178	107P (60分)		2010/05/17 10:16:09

オレンジ ☆☆☆☆☆	中国政府の愚かさがよく分かる1冊。 文化面では素晴らしいものをもっているという点では疑いようのない中国ですが、一方で政府等の腐敗がものすごいというのもよく知られた話。 でも、この本を読むと想像以上の腐敗っぷりにあいた口がふさがらなくなります。 最近は日本を挑発する行為を続けてる中国。 このような国と仲良くしていかなければならない日本は不幸としか思えないですが、近年は中国国内でも民主化を求める声が強まっているようで、いつ民衆が爆発するのか、そこに期待したいです。			
	pp.5-317	313P (300分)	pp.314-317	2010/04/30 16:10:33

おれ ☆☆☆☆	対アフリカの資源外交。興味深い。 アフリカ意外でも、中国と国境を接するアジアの開発途上国でも政治、教育まで「中国」の影が及んでいる。			
	218-277	60P (120分)	218-246	2010/04/26 12:19:49

TOPへ

100年予測

著者名	ジョージ・フリードマン	発行年	2009年
出版社名	早川書房	ページ数	368ページ
値段	1,890円	ISBN	978-4152090744
コメント	未来予測なんて、話はんぶん眉唾眉唾。トルコと日本が次の覇権国？ まっさかー。 まあそこは眉唾と割り切って、一緒に地政学ごっこに興じ、宇宙戦争ＳＦ気分を楽しむのがたぶん正解。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ポチ ☆☆☆	早川書房の本だから多少SFでも許すべきなのかなと思いながら読みましたが、みなさんもそう思っていたとは。ちょっと笑えました。 常々国家というものはそれ自体意志を持った生き物のように動くよなあ、なんでかな、と思っておりますが、地政学という考え方に触れてまたその疑問を新たにしました。誰かわかりやすく説明してくれないかな。 内容に関しては、第3章が充実していたらもっと良かったかも。			
	pp. 4-103	100P (150分)	pp. 9-11	2010/08/06 20:17:51
鍋工房 ☆☆☆	なるほど確かにSF小説として読むのがよいかもしれない。 でもそれなら普通にSF小説を読む方がよいかもしれない。			
	all	368P (250分)		2010/07/10 22:53:12
おれ ☆☆☆☆	過去の歴史から未来を予測するのは必要なことでしょ。予測を淡々と述べているだけでその根拠はあまり書かれていないけどね。ちなみに日本という国を「軍国主義」と「規律」で説明してたよ			
	1-381	381P (360分)	136-154	2010/07/08 17:19:20
かずT ☆☆☆	地理的条件と歴史を基本として予測した未来を語っている. 2020年くらいまでは現実味もあるのかなと思うが怪しさ満天であった. 中国が食い物にされ中央政府が崩壊するというシナリオは面白かった.			
	1-369	369P (200分)	136-154	2010/06/16 22:34:17
ぼくらのコブラ	ほんまかいな、なんて思ってしまうこともあるけれど・・ 大衆向けのSF小説と思うとなかなか面白いのでは			

☆☆☆☆	80-102, 207-232, 263-290	80P (120分)	80-102, 207-232, 263-290	2010/05/22 00:57:20

溪華 ☆☆☆	思ってもいなかった予測というより、興味深い予測、という感じ。歴史は繰り返すとしても、もう少し、温暖化やテロ、少子化等今の現状、今直面している、今まで予想していなかった事態についても分析してほしい。 今後100年の世界の予測において温暖化問題を取り上げていないのは残念でした。解決策を用意していない問題は提起しないらしいですが、この先100年の変化として、戦争や政治の動向の前に、「地球に生きるものとして」、温暖化という大きくて無視できない問題にも何らかの記述がほしかった。			
	4-79,137-154,207-232、291-317、370-381	159P (120分)	52-79	2010/05/14 18:21:23

ひまじん ☆☆☆	“地政学”を用いて，アメリカを中心としたこれまでの世界の流れについて解説し，今後の世界について予測しています．地政学というものに馴染みがなかったので，過去の解釈については，「なるほど」「たしかにそうかも」と思うことも多く面白かったです．ただ，未来についてはどうなのかな．よくわかりません．本当に知りたければ，長生きするしかないですね．			
	1-368	368P (360分)	4-28	2010/05/11 22:57:08

hulk ☆☆☆☆	予測のプロセスは理論整然としているのに，なぜか胡散臭さ満点の不思議な本．SFとわりきって読めばすごく楽しめる．しかし，なぜ日本・トルコ・ポーランド…？選ばれたことは素直に喜ぶとしましょう．			
	序章，1-6章	147P (180分)	序章	2010/05/10 20:44:11

ろしあ ☆☆☆☆	地政学なんて全く知らなかったけれど。 国と国との関係を今ある事実と各国の取りえる行動の 制約を想定して、ダイナミックに未来を予測している。 こういう考え方もあるのかと、単純におもしろかった。			
	1-51, 80-102,	73P (50分)	81-82	2010/04/27 12:36:35

橘 ☆☆☆	地政学って、つまり「地理的条件からこれからの政治を考えてみました」って学問。 「国が広かったら統制しにくいから、ロシア・中国が内部分裂。そこに日本が勢力を拡大！」ってことらしいです。 でも、この地政学の弱点は、グローバルなマクロ視点であって、日本の政治の内部事情とかが把握しきれてないかな、感がありました。			
	各章末の概要＆207-232ページ＆エピローグ	40P (60分)	211-219ページ	2010/04/20 12:06:07

TOPへ

日本列島の２０億年

著者名	白尾元理	発行年	2009年
出版社名	岩波書店	ページ数	100ページ
値段	1,900円	ISBN	978-4000057707
コメント	写真がすばらしい。特に空撮。鳥の目でしっかりと山や川が、どんなふうに地形をつくってきたかが見てとれる。ナンバー20の新雪富士にほれぼれ。 解説が、もっと愛想良かったらなあ。できればイラスト入りがあらまほしい。良い企画なのに、そこがホント惜しい。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ぼくらのコブラ ☆☆☆	日本列島を形作る地球活動の姿を垣間見る事ができ 地球の壮大さを感じる 島国日本にはいろんな顔があるんだなぁ			
	写真だけ	62P (5分)	41 黒部川扇状地	2010/08/11 16:30:20
上場亮 ☆☆☆☆	日本を様々な視点で見る事が出来る一冊です。 以外に日本も捨てたもんじゃない			
	全部	100P (20分)	38	2010/08/06 15:31:37
おれ ☆☆☆☆	20個目の富士山は必見です！ なんと伊豆半島もみれるぞー			
	all	100P (60分)	p20	2010/07/21 13:41:59
Mr.Crazy ☆☆☆	写真みていると，海外の自然豊かな国の写真みてる気になりますが，日本なんですね．大阪東京と渡り歩いてきてるのでなかなか日本って思えません．			
	全部	100P (15分)		2010/07/20 12:58:27
	タイトルに「20億年」とか「景観50選」とかあるから，“写真から読み取る日本列島の歴史”的な			

ditherman ☆	ことを期待して開いたので，がっかりした． 一読した限りではどうしてこの順序なのか，どうしてその地域を選んだのかがいまいち分からなかったので教えてほしい． 水の流れ(滝や川など)のダイナミックさが上手く伝わってくる写真が多いと感じた． 火山の写真が気に入った．火山は日本ならではだと思う．			
	全部	100P (30分)	火山等	2010/06/30 20:42:58

ドナルド ☆☆☆☆	自然の風景のおもしろさを改めて実感した． ページをめくると突如あらわれる，東京のビル群との対比も素晴らしい．			
	すべて	101P (90分)	66-71	2010/06/29 10:17:11

ひまじん ☆☆☆☆	自然の造形美は見ていて飽きません。 ぜひ実物を見に実際の場所に行きたいものです。			
	すべて	100P (30分)	19	2010/06/24 22:06:23

かずT ☆☆☆☆	真黒な溶岩には草や木は生えにくい． パワーあふれる写真で自然に圧倒される．			
	1-71	71P (30分)	17	2010/06/21 13:10:27

まー ☆☆☆☆	実際に見たら圧倒されるんだろうなぁーっていう写真だらけ！ 近場の所があったら見に行ってみようかな。			
	全部	100P (15分)	8	2010/06/16 15:51:38

ｃnd ☆☆☆☆	雄大だなあ。 個人的には４８ｐ「瀬戸もののふるさと」に目を奪われました！			
	1-100	100P (30分)		2010/06/16 12:39:10

牛タン手工業 ☆☆☆☆	50番を見て自分がどんなところにいるのかを実感。 いつから土に触ってないんだろう。 久々に土に触りたくなった。			
	1-71	72P (30分)	4番、21番	2010/06/09 21:45:55

ばっは ☆☆☆☆☆	あこがれの花崗岩!! 登ってみたいと思わせる美学があります。			
	全部	100P (20分)	岩肌	2010/06/09 19:11:24

どかべん太郎 ☆☆☆	東京に住んでいると日本にこんな雄大な自然があることを忘れてしまう。 遠出したくなりました。			
	9－71	63P (20分)	61	2010/06/07 15:53:41

Apollo ☆☆☆☆	２０億年の歴史ヤバい			

	1-101	100P (20分)		2010/06/07 13:23:29

たざわ ☆☆☆☆	富士山ってやっぱりすごいと思った。この景観をどう残していくのか考えていかなければならない。			
	1-71	70P (30分)		2010/06/01 01:38:31

ふり太郎 ☆☆☆	最初の岩石の方は解説読んでもよく分からず、？ってなるけど、スケールのでかい写真が出てくるあたりから地球の歴史のすごさがわかってきます。火山の写真なんかはこんなアングルから見ることなんてまずできないと思う。そして、富士山はやっぱりでかい！			
	all	100P (30分)	20,31.49番	2010/05/26 23:11:25

chocolate ☆☆☆☆	普段自然に触れる生活をしていないけど、日本には素晴らしい場所がまだまだあるってことを感じます。とにかく写真が美しい。			
	1-101	100P (20分)		2010/05/20 20:11:00

スズキ ☆☆☆☆	日本列島の地質風景を切り取った一冊. 日本にはこんなきれいなところがあるんだ，と旅に出たくなります. 山登りがしたい.			
	1-72	72P (15分)	33番	2010/05/20 12:47:24

ピアノはじめました。 ☆☆☆☆	紹介される雄大な自然風景達は、現在に至るまでの莫大な時間を感じさせる。 そして最後に東京を見ると、そのあまりに人工的な風景は、時のスケールを一気に縮める。 この時間感覚のギャップは、自分達が地球の歴史の中の「一瞬」を生きていることを感じさせる。 大学生活もっと楽しみたいです。			
	all	100P (30分)	1番からパラパラめくって50番	2010/05/18 19:22:58

オレンジ ☆☆☆	説明は専門外なのでよく分からない箇所もありましたが、写真はなかなか面白いです。 自然ってすごいなぁって、素直に思います。 一方で最後の東京の写真を見ると、気持ち悪いぐらいの建物の数。 人間もすごいなぁって思います。			
	全て	100P (40分)	pp.68-71	2010/05/18 12:17:33

忍者 ☆☆☆☆	ぱっと見ただの山や岩の写真だが、そこには恐竜が生きた時代から日本列島誕生、現代に至るまでの日本列島の歴史が刻まれている。 普通に生活していたら感じることのない20億年という膨大な時の流れを実感することができて楽しかったです。 興味を持った写真だけでいいので説明を読むと面白さ倍増。			
	全部	100P (30分)	79ページ	2010/05/17 21:36:34

あんのーーん ☆☆☆☆☆	昔、地理で習った知識と整合する写真などがあり、説明もさほど難しい話ではなく、知的好奇心を満たす内容でした。マシュさんも読んでみるといいと思います。 それまでの自然の写真から一変、最後の東京の航空写真は、人間の科学力を感じる一枚写真でした。 とりあえず、これらの写真の場所をGoogleEarthで探してみようと思います。			
			20,22,24,27,35,41,43の	

	全部	100P (35分)	写真	2010/04/29 20:18:51

マシュ ☆☆☆	印象的な写真が多かったが、説明はあまり読む気にならなかった。 個人的には68-69ページの三宅島の火山島と70-71ページの東京の写真がすごいと思った。			
	1-71ページ	71P (15分)	68-71ページ	2010/04/27 18:26:13

an ☆☆☆☆	霧島火山群の写真がすごい！！ 一般の人じゃまずとれないアングルです。 説明も簡単に書かれていて、どんどん次が気になります。 プチトリビアをさくっと増やしたい人にお勧め。。			
	p2-p101	100P (30分)	89ページ（＋その写真）	2010/04/22 17:03:06

akilu ☆☆☆☆	スケール大。ヒトなんてちいさいもんだ。 モノもすごいけど、写真の腕もすごい。 目を瞑って深呼吸すればワープできそうな気がする。 個人的には岩よりも水辺派。 解説ははっきりいってつまらない。説明。 地学とか考古学？好きな人には面白いのかな 逝っちゃった感じでロマンとか語ってくれたほうが良かった 写真を見た後のキラキラわくわくが台無し…と思ったら、写真撮った人も地質学専攻か……。 地球の変遷とかはよくわからなかったけど、月並みだけども、自然てデカいと思わされた。 お気に入りは43番。			
	1-75ページ	75P (30分)	12,44番の写真	2010/04/15 15:13:06

TOPへ

武士の家計簿

著者名	磯田道史	発行年	2003年
出版社名	新潮新書	ページ数	203ページ
値段	680円	ISBN	978-4106100055
コメント	埃まみれの古文書から微細にあぶり出される武士家族の収入と支出。維新を乗り切ったつましい暮らし。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
みぃたん ☆☆☆☆	武士がこんなに貧乏だったとは。時代劇を見る目が（あまり見ないけど）少し変わりそう。でも確かに、参勤交代って習った。 猪山家の、持ってるものを全部売るっていう行動にはびっくり。その売ったものの表の中で、飛び抜けて高かったのが、お茶の道具だった。今で言う、車みたいな財産が、当時の茶道具だたのかな。			
	～２章まで	103P (120分)		2010/08/24 09:58:43
nao ☆☆☆☆	武士の生活実態が細かく書かれていて、勉強になった。 政治家(大名)を官僚が支える構図は、昔から変わらないんだと思った。			
	1－74	74P (45分)	21－40	2010/08/18 14:04:03
栃木のイベンター ☆	途中まで読みましたが，個人的にはわかりにくかったので挫折してしまった.			
	第1章	31P (20分)		2010/08/15 16:10:10
DAIKINエアコン ☆☆☆☆	つまみぐいもいいところですが，面白かったです. 武士が家計簿を正確につけていない場合が多いという事実にすこし驚き．年貢の現在価値への換算が少し「なんだろうこれは？」と思ったけれどまぁよしです.			
	1-20,47-80	57P (60分)		2010/07/28 20:05:38
7boys ☆☆☆☆	面白かった！			
	all	222P (100分)		2010/07/27 15:50:28

つばくろう ☆☆☆☆	江戸時代の金利って闇金並み！あの時代だったらア○ムでも低金利ですね			
	3-218	215P (160分)	5章	2010/07/12 21:35:36

ろしあ ☆☆☆	武士も借金してたんだなぁ、それも武士同士で。 けれども、その金利がとても高い。意外と金に厳しい。 武士としての美徳が感じられない。なんだか武士のイメージが変わってしまった。			
	1,2章	103P (90分)	62,63	2010/06/29 09:12:36

g2oma ☆☆☆	古文書というものから武士の家計簿が書かれるまで経緯が興味津々で、武士のお金づかいより面白かった・・・			
	全部	203P (200分)	3-44	2010/06/28 08:07:33

1412 ☆☆☆☆☆	時代の移り変わりの中で個人がどう生きていたのかが詳細に書いてありおもしろかった。			
	1-203	203P (150分)		2010/06/24 12:36:33

たざわ ☆☆☆	やっぱり葬式や先祖供養には、武士もお金をかけていたんだなぁと。 初任給を全額出してしまって、本人はどうやって生活するのだろう。			
	129-156	28P (30分)		2010/06/18 14:27:19

江戸川 ☆☆☆☆	会計を生業としていた猪山家の武士のつつましい暮らしぶりを家計簿から読み取る一冊。 元来私たちがもっていた武士のイメージよりも貧乏なその姿がありありと浮かびます。 でも明治維新を経て年収3600万の男に成り上がるところがすごい。 53-56ページの江戸時代の貨幣の現在の価値はというところは、 経済をやってる人ならX財で測った実質価格だのなんだのを思い出すはず。			
	全部	203P (120分)	53-56ページ	2010/06/16 13:53:40

ushiushi ☆☆☆	数字で身を立てる武士ってのはなかなか想像しがたい。 今回は時間がなかったのでまた今度。			
	1-30	30P (30分)		2010/06/15 18:37:19

chocolate ☆☆☆	幕末~明治維新まで激動の時代を生きたんだなーって思ったけど、作者の感動は私にはあんまり伝わらなかったかな。			
	1-218	218P (90分)	特には...	2010/06/08 12:33:12

atom ☆☆	残された武士の家計簿から、その一家の生活ぶりを再構築していく。評価は高いようであるが、あまり自分にはわからなかった。			
	3-32	30P (40分)		2010/06/08 09:01:13

	猪山家という算用者の一家の細かに描かれた家計簿から幕末から維新初期までを切っていくというなかなか新しいスタイル…悪くはない。事細かな収支によって武士の生活があらわになり当時の生活のつらさが伝わってくる。

ukayare ☆☆☆	しかしながら数字は事実は記述しても感情はあらわすことはできない。というよりも数字はそういうことを記述するには向かないからであろう。 確かにこの本が出す数字にはリアルさがある。人々の動きはわかる。しかしその数字から見える世界の人々の表情は見えてこない。のっぺらぼうの動きしか見えてこない。まあこれは自分のリアルという言葉のとらえ方の違いなんだろうけど。 それにしても武士は行事か多かったんですなあ。しかし彼らは金銭の苦悩よりもプライドを選んでいた。サムライ魂ここにありってやつでしょうか。			
	全部	203P (160分)	特にない	2010/06/03 17:53:46

Mr.Crazy ☆	タイトルに惹かれた借りたものの，つまらない．これ絶対評価低いと思いながら研究室で読んでたら研究室の先輩で去年この本読んで評価１つけた人がいて，まだその本あったんだって言われました．まあ今年こそなくなるでしょって言ってたらなんですかこの評価の高さは（汗）．機械物理専攻にのみ不向きな本のようです．てかそんな武士の家計簿が載った大事な本が普通に買えるのはビックリ！			
	3-6,15-32	22P (30分)		2010/06/01 13:06:55

Apollo ☆☆☆☆	家計を見ればその人の生活がわかるとはよく言うような気もするしそうじゃない気もしますが、この武士の家計簿からは武士の生活がどんなものだったか見えてくるような気がします。 武士って貧乏だったんだね。知らなかったよ。			
	1-216	216P (150分)		2010/05/31 12:04:14

溪華 ☆☆	新書とは思えない程、とても読みやすい文章でした。 金融破綻、地価下落、リストラ、教育問題、利権と収賄、報道被害など、幕末から明治を生きた武士の「最後の御算用者」の真摯さにしみじみとします。			
	全て	203P (240分)	105-126	2010/05/24 17:40:28

くらげ ☆☆☆☆	時間の関係で、あまり読めませんでしたが…。 家計簿から読み解く武士の暮らしぶりがリアルで面白かった。 この授業で読んだ「天地明察」の主人公が江戸の数学好きの下級武士だったのですが、この本は加賀の会計一族の話。 繋がるところも多く、そちらの意味でも興味深かったです。			
	1-44	44P (30分)		2010/05/21 17:07:17

RKJK ☆☆☆☆☆	今まで読んだ中で一番面白かった。 本当に淡々とした日常がつづられているだけなのだが、その日常に非常に親近感が沸く。 猪山の野郎も苦労してやがったんだなぁ、って感じ			
	1-218	218P (120分)		2010/05/13 17:25:11

ありす ☆☆☆☆	銀色に輝く刃を翻して、己の理想のために命を掛ける・・・これまで抱いてきた武士のイメージが一変、家計簿から浮かび上がるは実に質素で慎ましやかな日々。 カッコ悪いかと言われればそうではなく、刀の代わりに算術でもって国を守る姿はまさに男。			
	ぜんぶ	203P (80分)		2010/05/10 22:52:35

komu ☆☆☆☆	武士の家計簿を通じて、当時の武士の生活を分析しています。印象に残ったものの一つとして、武士の家柄格式に見合った縁組の理由は、身分意識のほかに金融関係を意識したことにもあるという指摘です。武士の苦労が想像できて面白い半面、少し武士のイメージが壊れたというのも正直なところです。			

	13-104	92P (60分)	56-60	2010/04/30 17:33:07

かずT ☆☆☆☆	金沢藩の御算用係である猪山家の家計簿から，幕末の武士の生活を明らかにしている. 世襲が重んじられる大名など他の一般的な武士とは異なり，御算用係の彼らは筆算の実力によって武士としての身分を維持していた. しかしながら賃金は低く能力の割に随分と冷遇されていたように思う.			
	1-126	126P (100分)	45-103	2010/04/24 23:05:44

あるみ ☆☆☆☆	家計簿及び書簡、日記、系図や藩史等の史料から、幕末武士の一族の姿が生き生きと描かれています。 物語性が高く読み易いですが、歴史小説とは異なり著者の想像と事実とは明確に区別されています。 逆を言えば、史料から得られる情報でここまで鮮明に過去を「見る」ことができるということ。 そう考えると、歴史学ってのもなかなか面白そうだと思いました。			
	all	218P (120分)	217-218ページ	2010/04/23 16:44:09

Coppet ☆☆☆☆☆	新書ですが、まるで小説のように読みやすかったです。 家計簿と聞いてイメージするような、データの羅列ではなく、そこから加賀藩御算用者である猪山家の歴史に焦点を当てて描かれています。 武士に対するイメージを新たにしてくれる本だと思うので、かなりオススメです。			
	全部	203P (240分)	15-103ページ	2010/04/19 13:27:01

富士駿河 ☆☆☆☆	年貢から多くの収入を得ていたから裕福、という武士に対する単純な考えがあっという間に消えていった。 やりくりの大変さだけでなく、儀礼や親戚を重んじる姿勢を見てきたことで、「偉い」とされている武士に対して、敬意を表したい。			
	3-156ページ	154P (110分)	60-103ページ	2010/04/16 15:36:56

Solar ☆☆☆☆☆	つまみ食い実践、ということで、2章より読み始めましたが、 2→3→4→5→6と順に読み、ついには1章まで読んでしまいましたw 借金解消のために一家が採った金策の生々しさがリアルに伝わってきます。 余談ですが、2010年に映画化されるそうです。			
	ぜんぶ。	203P (170分)	45ページの「2章」から。	2010/04/15 16:34:54

TOPへ

トランクの中の日本

著者名	ジョー・オダネル	発行年	1995年
出版社名	小学館	ページ数	98ページ
値段	2,500円	ISBN	978-4095630132
コメント	たぶん戦争体験って、こんなふうにしか手渡してゆけないのかもしれない。 ハエが真っ黒にたかったりんご（90ページ）とか、アルミニウムのお盆（30ページ）とか、そして彼の代表作と称えられる96ページの少年……痛みなしでは受けとれない。 写真の重み、それが語るドラマの重みを受けとめつつ、並記されている英語のコメントにも目をとめてください。それもまた、ジョー自身が刻んでいったたいせつなメッセージだから。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
Asagi ☆☆☆☆☆	「あの爆弾で私の家族も友人も死んでしまったのです。あなたや私のように罪のない人々だったのに。死ななければならない理由なんて何もなかったのに。」 ほとんどの日本人は彼にとって『被写体』であり、『観察』し『撮影』する彼に対して、暖かくもあり、優しくもあった。 けれど、ほんの数人が、彼に自分の言葉で投げかけた言葉は、果たしてどうだったか。暖かかったか？ 優しかったか？ 彼に向けられたその暖かさは、優しさは、本当に心からそう思ったものだったのか？ 自分はそこに、どうしようもなく違和感を感じてしまいました。 一人の従軍カメラマンの記録として、様々なことを考えさせる、良書だと思います。			
	全部	98P (60分)	44-45	2010/08/16 06:57:25
ひまじん ☆☆☆☆	年端もいかない少年が、弟の亡骸を背負い直立不動で歯を喰いしばり真っすぐ前を見ている写真から、当時の日本の軍国教育の異常さを感じた。もっとも、この自分の価値観もある程度今の教育によって形成されたものであることを考えると、教育の果たす役割の重要性は計り知れないものだと思った。戦争って恐い。			
	すべて	98P (45分)	96,97	2010/08/13 01:54:41
ポチ ☆☆☆☆	「私はアメリカを許しますが、忘れてくれと言われてもそれは無理です」 老人のこの言葉が心に残りました。いつか日本がアメリカのように他の国々の人々を傷つけてしまわないようにと深く深く思いました。			
	全部	115P (30分)	pp. 44-45	2010/08/03 23:05:56

牛タン手工業 ☆☆☆☆	日本人とアメリカ人で一緒に食事をしたり風呂に入っているのが印象的でした。 何でこんなに仲良くしているのに、戦わなければならないんだろう。 戦争の理不尽さを感じることができました。 今は写真や映像でしか戦争を知ることはできないけど、この写真を見るだけでそれが感じられた。			
	全部	98P (45分)	38-41	2010/07/25 13:00:49

Mr.Crazy ☆☆☆☆	写真だけパーっと見ました．ところどころでページを止めてしまいました．被爆地の長崎の写真を今まで見たことなかったのですが，衝撃です．それ以上に背中に火傷を負った少年の写真が印象的でした．今からは想像できない			
	全部	98P (5分)		2010/07/13 13:06:50

yuigawa ☆☆☆☆☆	ここにまざまざと残されている光景は私たちがまるで知らないものではない。実際の個々の記憶ではなく、歴史の教科書にとどめられているものや毎年夏がくる度に共有する悲壮な記憶があるからだ。ではこの本から私たちが何を新しく学ぶことが出来るのかというと、なぜ、どのようにして、これらの写真が『トランクの中』に重く苦しく封じ込められていたのかということではないだろうか。これらの写真を撮ったレンズの向こう側には、かつてまったく違う価値観・ものの考え方を背負っていた異国の者がいた。長い時を経て今、私たちはきちんと正しくお互いに歩み寄り始めているのだろうか。			
	全部	98P (25分)	全部	2010/07/13 11:20:58

ぼくらのコブラ ☆☆☆☆☆	写真の力に飲み込まれてしまう。 無心で写真を見つめてしまう。 ふと、写真から目を離した後、心の中に戦争に対する今までとは別の感情が出てきた。			
	おーる	107P (40分)	45,85	2010/07/11 15:49:43

DAIKINエアコン ☆☆☆☆☆	衝撃？とも違う，悲しい？とも違う． 正直に言えば，これが最早自分とほとんど関わりの無いエピソードだと思っている． でも，この本を見て自分が感じた，あの嫌な気分．胸やけをしたような気分を表せる言葉を私は知らない． 重たかった．			
	全部	98P (60分)		2010/07/01 21:45:18

akilu ☆☆☆☆☆	終戦直後アメリカ人が近付いてきたら自決する、なんてドラマでよく見たけど、予想に反して毛嫌いしていたわけではないんだとわかり、それが嬉しかった。 でもページをめくるごとに、広島や長崎の話へと移っていき、つらくて仕方がなかった。 現実ではなくて、映画かなんかの映像だと認識させなければ、脳が受け付けなかった。 実験でマウスの解剖をたくさんしたけど、これは解剖練習用キットなんだって考えるようにしていた、それと似ている。 そんな受け止め方でよいのか、もっと直視しなければいけないのか、激しく葛藤しながら読んだけれど、私の受け止め方を少し肯定してくれているような一文があった。 当時の人々にしたら、こんなつらさ塵のようなものだろう。 だけど私は私の受け止め方で、未来の平和について考えてみようと思う。			
	all	98P (30分)		2010/06/25 12:38:29

atom ☆☆☆☆	アメリカの従軍カメラマン、ジョー・オダネルが、 原爆投下後の広島や長崎を撮影した写真集。 p30の「墜落した飛行士も気の毒な死者のひとりですよ」 の話が当時の日本人の物資不足と優しさ両面が表れていて 印象的だった。			

	全部	98P (40分)		2010/06/22 12:35:57

どかべん太郎 ☆☆☆☆	24ページの市長とのやりとりで当時のアメリカ人に対するイメージが変わった。最前線に立っていたアメリカ軍兵士も戦争中は、悩み、苦しみ、罪悪感と戦っていたことが推測される。 結局、戦争はほとんど何も生み出さない。改めて、二度と起こしてはならないものだと感じた。			
	全部	98P (30分)	20	2010/06/11 13:43:20

あんのーーん ☆☆☆☆	「あの日から半世紀、私はついにあのいまわしい記憶の詰まったトランクを開けた･･････。」 最初のページから衝撃を受けた。 本当に何もない佐世保や広島の焼け野原や戦後の風景、被爆者の写真。特に衝撃的だったのは、神風指導教官の話と88ページの写真だった。 この写真たちからは、当事者たちは何を求めて戦争をしたのか、お互い失うもの以外なかったのではないかと思った。 是非読んで見て頂きたいと思う。			
	全部	98P (20分)	30,59、88	2010/06/08 18:54:52

サカサカ ☆☆☆☆	終戦直後のアメリカ軍にとって，日本は敗戦国である，という感情しかないのかと思っていた．しかしそれはまったくの勘違いであったことが分かった．どれだけ戦争というものがつらくて，悲しくて，悲惨なものであるかを表現してくれるアメリカ人がいてくれてよかったと思う． 今も世界中で戦争が起きているが，なんで人は悲劇を繰り返すんだろう？そんなことを考えさせられた一冊.			
	all	98P (90分)	82-83,86-89,90-91,96-97,104-105	2010/06/08 10:49:42

ふり太郎 ☆☆☆☆	終戦直後なのに、日本人とアメリカ人との温かい交流が最初の方には写されており、戦争って本当に国レベルの話であって、個人レベルにおいては関係ないんだなとつくづく思わされてしまう。一方では、本当に原爆の悲惨さを伝えてきて、こういう思いをアメリカ人の視点から伝えてくれたことに畏敬の念を抱いています。			
	all	98P (40分)	38～41	2010/06/03 18:00:19

溪華 ☆☆☆☆	「撮影の対象を求めて」歩く中で、撮った。という印象が捨てきれないものの、たった一発で何万人もの命を奪った出来事に対して、日本人のように悲しみ、怒るアメリカ人がいてくれて良かったとさえ思う。 スミソニアンでの展示会で、エノラゲイ以外のものは展示されなかった。また英文のあとがきではそれについて省かれているという中で、さんな事説明のできない、どうしようもない事実があった事を心に留めておいてほしい。 ９６ページだけでも読んでほしい。			
	すべて	98P (40分)	96-97	2010/06/01 12:00:25

mnts ☆☆☆☆	戦争の悲惨さが胸に染みいるのはもちろんのこと、終戦直後の米兵と日本人の交流が読み取れる写真も載っているのがとても良かった。 小学校以来前者を伝える資料を見る機会は数あれど、後者はあまりお目にかからない。私たちが戦争について知るべきなのはその「悲惨さ」という抽象的なものだけではないと思う。そこにいた人々の生活や行動、考えをもっと具体的に感じられるものを目に入れていくべきだと思う。			
	all	115P (20分)		2010/05/25 23:15:41

ピアノはじめました。 ☆☆☆☆	ページをめくっていて、ただただ悲しくなる。 家族を失った被災者の強く生きる様子がとても印象的だった。 もうしばらくこの本は開きたくないが、忘れたくもない本。			
	all	115P (40分)	24,96	2010/05/25 18:56:49

スズキ ☆☆☆☆	終戦直後の日本の写真. これが異常なほどリアルで，その時の様子を生々しく物語っている. アメリカ人の視点から，というのも面白い. 平和ボケの頭には衝撃的だった. 悲惨な過去は，二度と繰り返してはならない.			
	all	98P (25分)	97	2010/05/24 16:15:36

an ☆☆☆☆	立ち読みポイントは、あまりに広大なため2枚の写真を取ってくっつけなければならなかったという、長崎・爆心地の写真。 この写真一枚で、原子爆弾とは何かを教えてくれる。			
	全部	115P (25分)	82-83ページ	2010/05/11 11:40:29

7boys ☆☆☆☆	写真は動くことなく、私たちに「過去」を見せてくれる。 忘れてはいけない過去がここにあった。 戦争の写真はいつ見てもとても悲惨だ。 だからこそ平和を願わずにはいられない。			
	all	115P (30分)	どこでも良いので一見して下さい	2010/05/06 11:12:49

WHISKYMAN ☆☆☆☆	終戦直後の日本の様子を米海兵が撮影し、その写真が彼の感想とともに載せられている。当時の日本には想像を絶する世界が広がっていた。街中にただよう肉や髪の毛の焼ける鼻をつくような臭い、体が焼けただれ黄色い膿が体中ににじみ出ている男、蠅のたかったりんごにむしゃぶりつく子供…など。そしてそんな状況下でも信じられないくらいしっかりしていて、たくましく生きる子供達の姿が特に印象的だった。忘れてはならないのは、これは単なる過去の記録というだけではなく今も世界のどこかに似たような光景が存在するということ。この本を世界中の人に見せて戦争の悲惨さを伝えられればと思う。			
	1-115ページ	115P (80分)		2010/04/16 17:33:59

TOPへ

ついこの間あった昔

著者名	林 望	発行年	2007年
出版社名	弘文堂	ページ数	240ページ
値段	1,500円	ISBN	978-4335800559
コメント	和服のおばあちゃんが茶の間で（！）新品の洗濯機のローラーを回して洗濯物をしぼっている。手前には夕餉のしたく。そんなレトロ写真に、そう言えば夏休みに洗濯の手伝いで衣類を「のしいか」にするのは、けっこう楽しかったっけ、と著者自身の思い出を重ねる。 ありきたりの写真解説ではなく、個人の記憶と重ね合わせることで、昭和の内ぶところに、より深く抱かれる。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
kyk ☆☆☆☆☆	東京は変わり続けている。 突然すべてが変わってしまったのではなく 変化と思い出が隣合わせになりながら徐々に 「今」になって行く。 私達は日々に残った思い出を探しているのではないだろうか。			
	全部	240P (60分)	全部	2010/08/18 15:17:43
サカサカ ☆☆☆	昔の渋谷の写真には驚いた。 また、自分の実家は家族全員でおはぎを作る習慣があるのだが、そのような風景を収めた写真を見て、ついこの間どころか今でも生きてる習慣なんだなー、と思った。実家に帰りたくなった。			
	all	240P (90分)		2010/08/17 23:06:35
ポチ ☆☆☆☆	著者が両親とほとんど変わらない年だったので（ちょっとだけ上）、昔祖父母の家で見せてもらったアルバムを思い起こしながら読みました。うちの両親はかなりの田舎育ちなので、この本に載ってる暮らしとそんなに違いはなかったはず。 一方で、pp. 68-69の行水をする兄弟とお母さんの写真のような光景もいまだにお向かいのお宅では繰り広げられていて、こんなささやかな幸せがこれからも引き継いでいかれると良いな、と思います。			
	pp. 1-115, 124-147, 173-195, 204-211, 220-227	178P (120分)		2010/08/17 21:40:15
	写真だけさらさらーっと見ていって，気になった写真について文章を読んだ感じです．ちょっと前の渋谷はこんな感じだったのかと油断して，続きの写真をペラペラ見てたら急にハレンチな写真が			

Mr.Crazy ☆☆☆	出てくるのでご注意を！			
	全て	240P (20分)	108-115,172-187	2010/08/16 13:15:20

ドナルド ☆☆☆☆	現在とのギャップがとても興味深かったが，自分の田舎では12-13や76-77のような風景は未だ見られるので，懐かしい感じもした（かなりの田舎です）． 現代とこの本のようなちょっと前の時代，どちらがいいとは思わないし，言えないとも思う．どちらの時代にも良い面・悪い面は当然あり，それはこの先も変わらないのではないだろうか．			
	すべて	240P (60分)	12-19ページ	2010/07/30 17:55:57

ditherman ☆☆☆	悪ガキの写真が秀逸． 恐らくスペースの都合上，筆者は悪ガキと隣の女の子のみに触れたと思うが，良く見ると後ろの二人(男の子と女の子)の表情の方が面白い気がする． どなたか文才のある方，物語の続きを書いて欲しい．			
	全部	240P (200分)	悪ガキの心底	2010/06/30 20:57:18

maaa ☆☆☆☆	ついこの間あった昔というタイトル通り、そんなに昔のことが描いてあるわけではない。しかし、本の中の写真を見ると、今よりもずっと昔のことのように思えてならない。			
	1-35	35P (20分)	なし	2010/06/29 00:41:22

オレンジ ☆☆☆	懐古主義が良くないとは思いません。 昔の日本に良いところがあったのは事実でしょう。 ただ、なかまさんの言うとおり、私たちの世代においては近代以降を批判して昔を懐かしんでいればよかった時代はもう終わったように思います。 1度便利な世の中になってしまったら、昔の(今から見れば)不便な時代に戻ることは不可能ですし、古き良き時代は思い出として残すにとどめるべきだと思います。 とは言っても、自分が筆者ぐらいの歳になったら同じことを言うのかもしれませんが…。			
	全て	240P (100分)	なし	2010/06/21 13:08:34

なかま ☆☆☆☆	くまさんの言うように、写真集として見たほうが楽しめると思う。 個人的回想は嫌いではないけれど、近代以降を批判して昔を懐かしんでいればよかった時代はもう終わった気がする。少なくとも私たちの世代においては。			
	全て	240P (80分)	61,173	2010/06/08 15:42:07

k.k.t ☆☆☆☆	普段あまりこのような写真を見る機会がなかったのでとても新鮮だった。またパッと見では気付かないような細かいところまで筆者が解説をしているので、その時代の人々の生活が少し理解できたと思う。このような生活は今の自分にとってはとても新鮮でかつ懐かしい感覚を覚えた。			
	1-75	75P (40分)		2010/05/17 20:41:44

くま ☆☆☆	確かにchocolateさんの言うように文章表現は余り好きになれないが、写真１枚１枚はインパクトがあって面白かった。 寧ろ写真集として見たほうがいいかもしれない。			
	1-251	251P (120分)		2010/05/10 15:41:39

	今や３Dのテレビもつくれる時代だが、ほんの半世紀前までを見るとビックリである。結構ショッキングなものもあって写真は一見ありかも。 しかしながら、著者の個人的回想が多すぎる気がして、読んでてストレス溜まった。絶対に当時の

chocolate ☆☆	平均所得者層よりもリッチな生活送ってた感がところどころするし、しきりに私は東京育ちだが、という前置きがあって、正直昔を懐かしむおじいちゃんの話を聞いているようで、言っていることは正しいのかもしれないけどうっとうしい感じがする。			
	12-235	223P (90分)	132-139	2010/05/04 01:39:57

TOPへ

任天堂“驚き”を生む方程式

著者名	井上 理	発行年	2009年
出版社名	日本経済新聞出版社	ページ数	288ページ
値段	1,700円	ISBN	978-4532314637
コメント	人生のたくさんの時間をお世話になってきた、いやたぶん今もお世話になりつつあるゲームの世界のお話。 京都の花札屋がいかにして世界制覇を成し遂げたか？ なんてまとめると、ありがちサクセスストーリーっぽく聞こえるけれど、どうしてどうして、この会社はタダモノではない。「最先端じゃなくてイイ、枯れた技術でじゅうぶん」「僕らは役に立たないモノを作ってる」、経験に裏打ちされたスゴイ言葉がぽんぽん飛び出してくる。数時間のインタビューをお手軽にまとめたのとは底力の違う、取材の手あつさがあってこそだろう。気合いの入ったルポルタージュである。 そして何より、社長の岩田さんが我らが東工大の大先輩だってことに、アツくなれる……はず！		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
布団が敷いてある ☆☆☆☆	高度な技術を追求したくなる気持ちが非常に良くわかるので，wii開発のコンセプトには感心しました． 後半部分より前半部分のほうがおもしろく，読みやすかったです．			
	流して全部	304P (150分)		2010/08/11 15:09:05
かーたか ☆☆☆	ゲームとか自分はあんまり興味ないが、こんだけ話題になっている任天堂には興味があった。「たかがゲーム」と思っていた自分みたいな人に対して、ゲーム観を改変し、新たなマーケットを開拓していった、そんな力強さとクリエイティビティを感じた。			
	1-54	54P (60分)		2010/08/10 17:51:54
まー ☆☆☆☆	普段ゲームをしない層を取り入れるというのは、口にするよりも何倍も難しい事だと思う。 それを実現した任天堂のサクセスストーリーみたいな感じ。 いい意味で子供の心を忘れていないんだろうな。			
	1-288	288P (180分)		2010/08/06 15:16:52
牛タン手工業 ☆☆☆☆	ニンテンドーDSの発売日に社長が本社にも店頭にもいないなんて、なんてすごい社長だろうと思いました。 社長を始め企業のトップの人が子供のような遊び心を持っているからこそ、驚きを生み出し続けているのかなぁと思います。 おそらく任天堂にはこれからもお世話になります。			

	1-173	174P (300分)	第2章	2010/08/04 01:53:56

RKJK ☆☆☆☆	任天堂の成功秘話。自分でも成功したのは運のおかげと言ってしまう謙虚さは素晴らしいと思うけれど この本を読んで任天堂のまねをするのは難しいだろうなと考えると 娯楽本としてはともかく学ぶことは少ない感じ			
	1-304	304P (240分)		2010/07/07 15:49:33

atom ☆☆☆	ヨーロッパに旅行に行った時に電車内にＤＳの広告がたくさん貼ってあって、人気の高さが伺えた。ゲームは普段やらないけど、確かにＤＳやＷｉｉは欲しいなと思っていたし、この本を見てゲームがしたくなった。			
	7-41	35P (50分)		2010/06/29 12:32:05

栃木のイベンター ☆☆☆	ゲームキューブなどの黒歴史からDSとWiiの成功までいろいろなことが書いてあります. PSなど画質で勝負だということではなく，別の路線ー家族全員が楽しめるー考えてみれば当たり前のことなんだけれども，それを一生懸命試行錯誤して成功したのはすごいと思った.			
	1-193ページ	193P (90分)	第2,4章	2010/06/15 10:07:09

rs ☆☆☆☆	かれた技術を使うというところに任天堂の強みが出ているなと思いました。 DSとWiiに続くヒット作がどのようなものができるのかが楽しみです。			
	全部	288P (120分)	194-197	2010/06/10 09:45:44

maaa ☆☆☆	DSやWiiがどのような発想から生まれたかが書いてある本。 非常にユニークな発想で、とても面白かった。自分としてもこのような発想を今後参考にしていきたいと思った。 本の内容としては、任天堂を絶賛しすぎている感じがあり、違和感を感じました。任天堂好きな人にはおすすめです。			
	全部	288P (240分)	49-73	2010/06/07 13:25:21

mnts ☆☆☆☆	普段ゲームをしない層を取り込むというのは、DSやWiiが成功した今でこそまっとうな戦略であるように感じられるが、前例の無い状態でこの発想は普通出てこないのだろうなと思う。 コロンブスの卵ってこういうことなのですかね。			
	16-181	166P (140分)		2010/05/25 22:46:14

つて ☆☆☆☆☆	任天堂×新しいモノ＝∞ 岩田氏の行う新しい経営、山内氏の「直観」に基づく経営。形は違えど、「社員が任天堂色に染まる」ような経営ができるのはすごい。ヘッドハンティングされて、高給を示されても社員が辞めない会社って、ほとんどないんじゃないか？			
	全部	304P (150分)	2,3章	2010/05/25 10:57:45

ditherman ☆	・糞ブック ・著者は岩田がDSに落下試験を課す意図をまるで理解してない ・まだ岩田の自伝の方が面白かったし驚きもあったと思う			
	全部	304P (500分)	なし	2010/05/18 18:19:26

Mr.Crazy ☆☆☆☆	正直PS派で少し前までは任天堂は終わったなと思っていました. DS，Wiiが登場してからの任天堂の目覚ましい躍進の背景には一体何があったのか．勉強になります．でもこれからもPS3します.			
	7-297	291P (180分)	49-67	2010/05/11 13:04:11

海老ちゃん ☆☆☆☆	中盤から経営にまつわる話だったので、そこから任天堂が真摯に身の丈経営に徹することの意義を学ばせて頂きました。 僕がその中で特に興味を持ったのが、任天堂が自社をあくまで“娯楽の会社”と認識している、ということ。自社を拡大していくのではなく、サードパーティと共生してシナジーを生成していくというその任天堂らしい未来図に、自分も大いに期待してしまいます。			
	77-181	105P (80分)	108-116	2010/05/11 12:04:29

Unknown ☆☆☆☆☆	高度な技術を追求しすぎて、顧客のニーズをつかむことができない日本企業にぜひ読んでほしい一冊。 使い古された技術から発想の転換によって大ヒットを生み出すその姿勢こそが、これからの日本にとって大事であろう。 ※新たな客層を求めすぎている気が。昔ながらなマリオやゼルダ好きのコアなファンがまだたくさんいることも忘れないでほしい。			
	36-46,67-73,77-136,162-168,185-193,209-217,239-243,247-266,284-289,297-304	142P (70分)		2010/04/27 00:49:13

スズキ ☆☆☆	DSやWiiが売れている理由はどうしてだろうか．なぜPS3やPSPに勝てたのか．戦略論に興味があったので読んでみた. 読んで思ったのは，ゲーム業界という娯楽を扱う企業は，最近はやりの顧客を中心に考える経営ではなく，顧客に対して面白いものを提供するPUSHの経営ができるかが大切であるということだった. 「次世代の技術ではなく次世代のゲーム体験を提供する」という岩田氏の言葉にあるように，消費者みんなが手軽に楽しめる（笑顔になれる）ゲーム（の楽しみ方）を提供できていることが任天堂の成功要因だろう.			
	全部	304P (80分)	7-73	2010/04/26 16:49:18

忍者 ☆☆☆☆	経営専攻の自分にとって、革新的な成長を続ける任天堂は非常に興味深い企業でした。 企業ドメインをしっかりと保持し、選択と集中を進めながら、競合企業が狙っていないようなブルーオーシャンを開拓していく様子・・・ お手本のような経営戦略は見ていてとても爽快です！			
	全部	304P (250分)	p.49- 2章DSとWiiの誕生秘話	2010/04/26 13:14:08

k.k.t ☆☆☆	ソニーなどが機能を求めていくところを任天堂がその路線を外れてＤＳやWiiを開発していく話が面白かったです。			
	49-60	12P (10分)	49-60	2010/04/20 12:58:21

	東工大生ならほとんどの人がお世話になったことがあるであろう任天堂ですが、最近はゲーム業界で独り勝ちのような状態です。この理由が何かということのヒントがあるのではと思い本書を選びました。

komu ☆☆☆	印象的だったのが、任天堂の経営の根底に流れる「ソフト体質」という思想です。採用の基準も、その人が「ソフト体質」を持っているか否かということらしいです。このことを踏まえることでDSやWiiが生まれた理由が理解できたような気がしました。			
	49-67、139-239	120P (40分)	235-238	2010/04/20 11:33:13

TOPへ

奇跡のリンゴ

著者名	石川拓治	発行年	2008年
出版社名	幻冬舎	ページ数	192ページ
値段	1,300円	ISBN	978-4344015449
コメント	変わりもんの困りもん。津軽弁でカマドケシと呼ばわるそうな。 そのカマドケシさんが、変わりもんであるがゆえに成し遂げてしまった、とんでもミラクル無農薬リンゴ。 徹底的に現場主義、リンゴの木から一歩も離れずに語られる体験談がすがすがしい。なるほど、生態系を殺すことから農業って始まるんだね、と納得。 九年ぶりに白い花を咲かせたりんご園。木村さんと一緒にお花見をどうぞ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
ひまじん ☆☆☆☆	「なんだ？奇跡のリンゴって（笑）」と、少し小馬鹿にした気持ちでいた自分を心から恥じている。単なる農家の苦労話でなく、人生や人間関係、自然など様々なことについて教えてもらった気がする。絶対不可能と言われた困難を、死に物狂いで乗り越えた木村さんの話に勇気づけられた。			
	すべて	192P (210分)	163-191	2010/08/14 04:49:56
栃木のイベンター ☆	プロローグで読むのをやめてしまいました.			
	1-16	16P (10分)		2010/08/04 18:23:07
たざわ ☆☆☆☆	青森県民として嬉しい限りのお話です。 木村さん自身の努力でもあるのに、周囲の人や自然に対する感謝によって「奇跡のリンゴ」は作られたとおっしゃっています。 「学者」の知識とは違うけれど、「学者」以上の経験と実践があるんだなぁと感じました。			
	全部	192P (60分)		2010/07/09 14:17:19
かずT ☆☆☆☆	無農薬のリンゴを育てた男の物語. 彼は取材を受けても「いや私じゃなくて，リンゴの木が頑張ったんです」というそうだ. 周りからは絶対不可能と言われ，アルバイトまでしてでも最後まで諦めず，地道に挑み続けた彼の姿は本当に胸を打つものがあった.			
	1-191	191P (60分)	168-191	2010/07/04 23:37:37

みぃたん ☆☆☆☆☆	農業の人ってこんなんなんだー、とちょっと農業を知った。 で、リンゴを育てたおじさんを見て、人ってここまで夢中になれるんだ！！（よく言うと努力できるんだ！）って思った。 読みやすく、面白かったです。 私もこのリンゴを一度食べてみたいです。 余生は農業も生活に取り入れてみよう、と思った。			
	1-192	192P (200分)		2010/06/24 09:27:31

ditherman ☆	いつも思うが，偉人や苦労した人の経験は文章にすると，説得力が薄れる気がする． 木村本人にカメラを向けたり，直接話を聞いたりしたら，本人の口から努力や苦労話など出てこないと思うから． それよりも本人のミラクルリンゴに対する思いや希望や夢を聞くことで，同時にその人の苦労が滲み出てくる…そういう話が出来る人が本当の偉人だと思う． 本人に会いたいと思った．			
	全部	192P (200分)	なし	2010/06/17 22:42:46

スズキ ☆☆☆☆☆	あたたかい.どうしてこんなにもあたたかい気分になれるのだろう． 木村さんが挑んだ問題構造を理論的に説明することもできるのだろうが，そんなことをしてはこの本の価値が失われてしまうとおもう． 自分のやりたいことは何か，そしてそれが決まったらとことんやりとおすことの大切さを改めて実感した． 奇跡の○○.あなたならこの○○に何を当てはめることが出来るでしょうか？			
	all	192P (80分)	51-167	2010/06/08 23:55:55

ろしあ ☆☆☆☆	まず最初にカバーの写真。木村さんの笑顔がものすごく良い。 少ししか読んでないが、とても個性的、魅力的な人なんだろうなと思える。 木村さんが農業をやるきっかけになった、イギリス製のトラクターが気になりました。			
	1-50	50P (30分)		2010/06/08 12:28:33

海老ちゃん ☆☆☆☆☆	エンジンいじりが趣味だった方が、このような農業を成し遂げるのかぁ、と最初は少し不思議に思いました。 しかし考えれば、木村さんは生粋のパイオニア。その凄まじいほどの研究熱心な姿勢が、生態系の本質を究明することに至らせたのでしょう。 登場する虫たちの描写で寒気を感じることもありましたがそれを吹き飛ばすほど、彼のサクセスストーリーによって胸が熱くなりました。			
	すべて	192P (200分)	115-127	2010/06/04 17:21:05

ピアノはじめました。 ☆☆☆☆☆	リンゴの木をとことん観察し、数えきれない程の実験を繰り返した木村さん。研究者としてのリスペクトに留まらず、家族を養っていけない苦悩と戦い続けたその人間力は凄まじい。 修論時期にもう一度読んだら気合い入るかも。			
	all	196P (180分)	115-122	2010/05/25 23:34:26

溪華	「バカになればいい」という木村さんですが、人が想像もしなかった何か大きな事を成し遂げた天才や偉人は、皆何と言われようが一つの事に懸命に打ち込めるバカだと思う。 「かまどけし」が最後には勝った気がします。

☆☆☆	いつか木村さんのりんごを味わってみたい。			
	全て	192P (180分)	120-125	2010/05/19 15:27:02

布団が敷いてある ☆☆☆	木村さんのリンゴのすごさを知ってぜひ食べてみたくなりました。 たぶん感動してリンゴに泣かされるかと。			
	全部	192P (180分)		2010/05/12 16:03:17

ふり太郎 ☆☆☆☆☆	とにかくどうやって無農薬でのリンゴ栽培を可能にさせるのだろう、その1点に興味がつられて、一気に読んでしまった。決して折れることのない精神、忍耐力はもちろん、行動の大胆さに裏付けられた数々のエピソードのインパクトがすごい。何より遂に、リンゴの花が数々咲くところは感動物です。			
	1-200ページ	200P (150分)	163-167ページ	2010/05/03 19:00:00

マシュ ☆☆☆☆☆	初めはよく意味の分からくただ余っていたから読み始めたけど、読み始めたら木村さんがどうやって成功まで至ったのか知りたくて一気に読んでしまった。 木村さんの壮絶な時期の苦労に比べたら自分の周りで起こる大変なことぐらいは大したことでもないなだなと思いました。			
	全部	192P (180分)	115-133	2010/04/23 17:14:57

なかま ☆☆☆☆☆	著者に拍手を送りたい。もちろん主人公の木村さんの生き方や考え方があってこそなのだけれど、文章の書き方や構成がそれをより引き立たせていると思う。			
	全て	192P (150分)	111－122、152-157	2010/04/19 15:05:49

TOPへ

なぜ君は絶望と闘えたのかー本村洋の3300日

著者名	門田隆将	発行年	2008年
出版社名	新潮社	ページ数	237ページ
値段	1,300円	ISBN	978-4104605026
コメント	電車のなかで読まないで。たぶん、涙が止まらなくなるから。 光市母子殺害事件。なぜに自分の家族が？ 突然に叩き落とされた奈落の底から、どんな光を頼りに青年は自らの力で未来を開いていったのか。それがいつしか日本の司法制度を変える大きなうねりとなってゆくまで。 一人称ではなく、情に流されない観察者の筆致で、しっかりとあとづけられた、たったひとりの、けれど重い足跡です。静かな熱さに吸い寄せられて、一晩で一気に読みました。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
布団が敷いてある ☆☆☆	ちょっと読むつもりが勢いで全部読んでしまいました. 現状の自分の境遇がいかに恵まれているかということを痛感しました.			
	すべて	252P (240分)	全部読んでください	2010/08/16 22:02:04
ひまじん ☆☆☆☆	普段は、つらい話を見聞きするのはなるべく避けているのだが、一気に読み終えてしまった。妻子を殺されるという耐えがたい苦痛・悲しみを味わった人間が、さらに法によっても苦しめられるのには、どう考えても納得がいかない。本村さんの長い闘いを涙なしに知ることはできないが、本当に心を打たれ、勇気をもらった気がする。			
	すべて	237P (270分)	すべて	2010/08/13 02:27:41
B4たかし ☆☆☆☆☆	自分も逆らって電車の中で読んでみた．後悔した．特に第1章と第4章は涙無しでは読めないだろう． 他のコメント欄で「正義を捨てた裁判官」は言いすぎ，という意見があった．著者の裁判官へのちょっと過剰じゃないかというぐらいの敵視がそう書かせているのだろうが， 被害者の立場からすればそう見ざるを得ない，ということなんではなかろうか． さて，この本に関しては是が非でも「エピローグ」まで読んで欲しい． そうすれば，この本でなぜ犯人が「F」とイニシャルで掲載されているかが分かるだろうから．			
	全部	246P (180分)		2010/08/05 15:28:34

くらげ ☆☆☆☆☆	いっっちばん大切なものを、ある日突然冷酷な形で奪われたら、私はこんなに強く生きていけるのだろうか。 前半は事件の衝撃的な映像と、本村さんの絶望を丁寧に描いている。あまりにショッキングだったので、電車の中で思わず涙目。忠告には従うべきだった しかしこの物語の本題はそのあと。少年法によって庇護される被告人。世間の在り方、法廷の在り方に疑問を抱き、全国に働きかけ動かしていく。 Ｆを死刑にすることが家族への償いだと思い、それに捧げた本村さんの９年間。一審直後は「早く被告を社会に出して、私の手の届くところに置いて欲しい。私がこの手で殺します(P132)」とまで言った。綺麗事を言えば「家族はそんなことを望んでいない。変なことを考えずに幸せになるんだ」と適当なことが言える。でもこの本を読み終えて、この内に秘めた怒りの激しさこそ、彼の生きる意味であり絶望から立ち上がったきっかけだったのだと感じた。それが酷く生々しく人間臭く感じた。本村さんは聖人君子ではない。 だからこそ彼の「死刑制度というのは、人の生命を尊いと思っているからこそ存在している制度（P237)」という訴えには納得させる勢いがある。 実は自分はどちらかと言えば死刑反対派であったのだが、この本で賛成派に随分と傾いた。今度は反対派の本を読んでみたいと思う。			
	all	237P (190分)		2010/07/20 17:03:02

an ☆☆☆	重い話です。。。実際に体験したことがもとになるとこうも重くなるのか、と実感させられた。			
	1-37	37P (30分)		2010/07/19 18:41:33

かずT ☆☆☆☆☆	司法とは，正義とはなんなのか深く考えさせられた. 犯罪の被害者や遺族にとって，少年法や死刑制度とはいったい何なのかと考えさせられる. 遺族感情を考えれば社会正義を司法に求めることは当然であるのに，それを主張するには実名を出して批判を受けることや，世間に見せたくない部分もさらけ出さなくてはいけない. このような日本の司法制度の現実にがっかりした. もちろん被告人の人権というのも重要ではあるが，被害者やその遺族へのケアをもっと充実させなければいけないと感じた. 司法が正義を下さなければ，被害者や遺族はやりきれない.			
	1-247	247P (200分)	全部	2010/07/07 16:46:34

つばくろう ☆☆☆☆☆	本村さんにかなり感情移入してしまった。本村さんなどの感情描写や裁判の様子がリアルで泣きそうになってしまった。 そして死刑制度についても考えさせられた。 遺族は犯人が死刑にならなければ気が済まないだろう。でも犯人が死んだところで遺族の悲しみがなくなるわけではない。 やはり死刑制度とは難しいものだ。			
	6-252	246P (200分)	all	2010/07/06 01:10:37

DAIKINエアコン ☆☆☆	この本が何のためにあるのかな？ と思った. 犯人の少年の世の中なめきった態度に腹は立つ 遺族の悲壮感は想像に難くない 本村洋さんの過酷な生き方に関心もする ただ，この本が何のために出版されたのかよく分からない. 最後まで読んでいないので，あまり非難めいたことは言えないが，この本の意図が，まったくわからない.			
	1-80	80P (120分)	最初の方しか読んでないので・・・	2010/07/01 21:51:55

富士駿河 ☆☆☆☆	他の人のコメントを見ると、「正義を捨てた裁判官」というのは言い過ぎだろう、という意見があった。確かにそうかもしれないが、本村さんにとってはあの判決が正義や良心に反している、と思うのは何も価値観の押しつけではないと思う。そもそも「正義」というのは人それぞれのものであり、だからこそ曖昧なのであると思うから。 また、本村さんだけでなく少年Fの立場でも考えてほしいといった意見もあった。このコメントで一方的な感情移入は避けられたが、最後まで少年Fの真意は分からなかった。同時に、裁判官が本当に人の感情を判断できるのか、と思いとどまるようになった。 この本のメインは「凶悪犯罪は生命を以て償うのは当然」ということになるのかもしれないが、立ち読みポイントで示した通り、「犯罪被害者をもっと救ってほしい」ことも重要なテーマであると思う。それは加害者に対して相対的なものではなく、遺族として自分の主張を言えること、である。少なくともこのことは早急な対策が必要だと、はっきり言える。			
	全部	247P (145分)	99-111、238-252ページ	2010/06/29 08:49:45

上場亮 ☆☆☆☆	非常に重い。死刑について深く考えたことが今までなかったが、これからも考えたくないと思った。			
	156-176	20P (30分)	156-159	2010/06/22 13:07:20

マカロニぺんぎん ☆☆☆☆☆	この本の主題は非常に難しく、悲しく、このコメント欄ではとても書ききれないため他の方があまりコメントしていない内容を紹介します。 私の立ち読みポイントは事件の加害者少年が刑務所で書いたとされる手紙を記述している箇所にあたります。この手紙の内容は私には非常に特異に感じられました。善悪の是非はともかく一読をお勧めしたいです、私はこの手紙のような文書に触れたのは初めてでした。 私は「絶対貧困」という本の感想で「どのような状況でも人間は楽しみを持つものだ」というコメントをしました。事件の被害者である本村さんもそうであったのか、自身の感想ながら軽い発言ではないなと改めて考えました。			
	全部	252P (200分)	p.147-p.153	2010/06/15 00:43:19

あるみ ☆☆	「私がこの手で殺します」 自分が本村さんの立場だったら、同じことを言うと思う。本村さんの絶望や犯人への憎しみは想像するに余りある。 そんな中で、世に意見を投げ続け、闘い続けた姿は本当に立派だと思うし、尊敬します。 それでも。 それでもやっぱり、裁判は被害者の仇討のためにあるのではないと思う。 法律は復讐のための道具であってはならないと思うのです。 私は本村さんではない。 本村さんの様な境遇に置かれる可能性はあるけれど、少年Fの立場になる可能性だってあると思うのです。 だから、この本を読んで、或いは本村さんの話を聞いて、本村さんの立場からのみ事件を見てものを言うようなことだけはしたくないと思うのです。			
	all	252P (150分)	初めから	2010/05/21 10:01:39

どかべん太郎 ☆☆☆☆☆	司法は誰のためにあるのか。死刑は必要であるのか。 不可解な日本の司法の姿を知り、深く考えさせられた。 弁護士とは、どんな残忍な犯罪を犯した犯罪者をも守らなければいけないのか。それが被害者や被害者の遺族を苦しめることになったとしても。 同時に、信念ひとつで、想像を絶する戦いを戦い抜いた本村洋さんを心から尊敬する。 ほんとに泣きます			
	6-247	242P (200分)		2010/05/14 13:44:25

	事件当時の本村洋さんの年齢は、私と一つしか違わない。

unknowoman ☆☆☆	よくぞ耐えた、そして闘った、と心底思う。 ただ、筆者が裁判官を「正義をすてた」「独裁者」「恐ろしいほどに傲慢」「被害者の見方ではない」と評することに、私は少し反感を覚えた。裁判官は限りなく中立であるべきだし、何の権力・感情にも屈しないべきであると考えているからである。裁判においてはまだ、被害者側の発言の機会など裁判に参加できる幅は少ないかもしれないが、それは司法制度が未熟であるだけで、裁判官をここまで批判するべきではないのではないか。確かに被害者心情はそう思ってしまうことは確かだろうとは思うけれども、筆者自身の司法制度の考え方を押し付けるような姿勢に、マイナス２。とはいえ被害者の心情は本当に辛かったろうと思う。法律をいいほうに変えていく運動は続けてほしい。 「死刑執行人サンソン」の後にこの本を読むと、いずれ少年を死刑する人がいるのか、その人もつらいだろうなぁ、とか色々考えてしまう・・・。なんともはや。			
	ぜんぶ	247P (120分)	ぜんぶ	2010/05/12 21:49:23

asce ☆☆☆☆	“裁判官は法廷の独裁者”、“正義を捨てた裁判官”等この本では述べている。前者は、映画「それでも僕はやっていない」の裁判官役伊藤しろうの“私の法廷です。”という言葉からもある程度は私の思っていたことなので同調するが、正義を捨てたという言葉は言い過ぎたと思った。 正義なんて曖昧な言葉で、人をここでは集団だが、判断すべきではないと思った。 ただ、本村さんのような特殊な立場に立っている人が、その時の意思に反するすべての物事が“悪”として捉えていることは避けられないことだろうし、責められないことだろうと思った。			
	6-247	242P (300分)	112-126	2010/05/11 13:18:33

弟子 ☆☆☆☆	逆らって電車のなかで読んだ。 後悔した。			
	all	237P (50分)	６章から	2010/04/27 10:46:19

ありす ☆☆☆☆☆	もしも突然、大切なひとを奪われたら、あなたはどうしますか――？ 世間を賑わせた山口県光市の母子殺害事件。ささやかに、けれど幸せに暮らしていた一家が一瞬にして崩れ去ってゆく。 「私がこの手で犯人を殺します」、こんな深い怒りと悲しみのこめられた言葉をわたしは知らない。 あなたは何も悪くない、どうか絶望しないでと祈りながらページを繰る手は震え、視界は涙で滲んだ。 同じ立場に立ったら自分はどうするだろう。何ができるだろう。 命の重みを考えながら、読んでみてください。			
	ぜんぶ	237P (80分)		2010/04/22 20:18:31

Mr.Crazy ☆☆☆☆☆	小学校と中学校の読書感想文で嫌々でしか本を読んだことしかない本嫌いな私です。正直本の数を稼ぐために，いわゆる濫読というのをしてちょっとだけ読むつもりでした。しかし本嫌いな私でも読み入ってしまい2日で読破してしまいました。この本からは色々と考えさせられるものがあり，自分は何の苦労もなく何て幸せに生きてるんだと痛感しました。衝撃でした。			
	6-237	232P (180分)	全部	2010/04/15 17:16:01

ＴＯＰへ

反骨心

著者名	清原和博	発行年	2009年
出版社名	角川oneテーマ21	ページ数	188ページ
値段	740円	ISBN	978-4047102071
コメント	男は踏まれて強くなる。 「いっちょう、ガツンと言わしたる」。少年時代そのままの闘争心に全身を燃え立たせて彼はバッターボックスに立ち続けた。ドラフトに敗れても、死球の嵐に見舞われても、戦力外通告を受けても。 ジャイアンツというチームがいかに特殊なポジションにあるかも、よく分かります。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
kyk ☆	どこまで読んでも内容がなかった。 いっていいのか分からないが 清原はあんまり頭が良くないと思った。			
	全部	205P (120分)	全部	2010/08/18 16:11:59
nao ☆☆☆	巨人への恨みに始まった野球人生が、最後は周りの人への感謝の気持ちに変っていく過程が書かれている。番長と恐れられた男も、内面は案外傷つきやすい人間だったことが印象的でした。			
	1－205	205P (120分)	36－65	2010/08/16 20:46:21
栃木のイベンター ☆☆	すごい読みやすくサクサク読めたし，おもしろかったが他の人も書いているように自慢話が多かったのが気になった．ただ桑田との関係の話はとても興味深かった．			
	全部	188P (70分)	第4章	2010/08/10 19:28:39
布団が敷いてある ☆☆	清原のことはあまり知らない状態で読みました． 非常に簡単で読みやすい本です． 帯に「人生挫折ありき」と大きくあり，ちょっと期待して読み始めました．しかし挫折どうこうの話より清原の自慢話がやたら多く，うんざりしました．			
	すべて	205P (120分)	169-194ページ	2010/08/04 13:38:08
	プロ野球が好きで出てくる人や、実際のその場面をかなり知っていたのであっ、そうだったのか！と思えることが多くて楽しめました。ただこの本は清原の自慢話や言い訳みたいな話も多く、その			

つばくろう ☆☆☆	部分はいらっときました			
	3-205	202P (150分)	4章	2010/07/14 21:58:13

DAIKINエアコン ☆☆☆	清原のことは嫌いでした. 西武時代から知ってはいました（地元チームですし）が，嫌いでした．だから，「いつも偉そうなこと言ってるやつが，今度は苦労話で金儲けでもするのかな？フゥ・・・」などと思いながら読みましたが，結果的にはだいぶ印象は違いました. ゴーストライターのテクニックかどうかは分からないけど，必要以上に「辛さ」をアピールすることはなかったし，どちらかというとこの手の話としては（僕の好む）淡々とした話の方だったと思う．読みやすかったし.			
	全部	205P (120分)		2010/07/13 11:32:40

Mr.Crazy ☆☆☆☆	清原がプロの世界に入った頃ぐらいにちょうど僕は生まれたので，過去の清原についてはテレビで昔の映像が流れた時に見たことがあるぐらいで，詳しくは知りませんでした．この本を読んで，清原の生きてきた道がよく分りました．藤川球児にフォークで三振を取られた時にはなった清原の言葉に僕はなんやねんこいつと思いましたが，彼なりの野球にたいする思いがあったんですね．しかし球児のストレートはすごい．ブラゼル頑張れー！！			
	全部	205P (100分)		2010/07/05 19:09:01

Apollo ☆☆☆	私は西武時代の清原は知らないので、清原と言えば年棒の割に打ってくれなかったりいつも怪我に苦しんでたりという印象が強いですが、そこに至るまでの経緯とかいろいろ知れてよかったです。 西武時代から清原を見続けてる人ならもっと面白いんじゃないでしょうか			
	1-205	205P (100分)		2010/06/28 18:21:48

富士駿河 ☆☆☆☆☆	ぬるま湯に浸った生活を行っていた 失敗挫折を恐れ、必要以上に落ち込んでいた 悔しさをバネにする方法を知らずにいた 感謝を形にすることが出来なかった 成功と挫折がそれこそジェットコースターのように交互に表れていたためか、緊張しながらページをめくり続け一気に読んでしまった。 けれど、人生に体当たりする教科書として、一生をかけてじっくり反骨心を身につけていきたい。			
	全部	203P (95分)	3-7、39-74ページ	2010/06/25 14:26:18

chocolate ☆☆☆☆	清原はここぞという時にいつも打ってくれたバッターだったな。 気迫があったが、あれは彼の男気がテレビでも伝わってきてたのか！ 本当にお疲れ様でしたと言いたい。 でもなんでみんなそんなに巨人に憧れるんだろう。テレビも昔は巨人しか映ってなかったし年俸も他球団と比べて全然違うし、スポンサー力によって左右されていいのか？？ っとアンチ巨人になってしまった今は思うのだ。 まっ今はワールドカップだな。			
	1-205	205P (60分)	116-130	2010/06/18 23:57:26

マシュ ☆☆☆☆	清原選手はプロ野球選手の中でもなかなか波乱万丈な経緯だったと思うが、ドラフトや移籍や怪我やその他、プロスポーツ選手の様々な出来事が少し分かった気がする。 ただ、この本の中ではかなり「良い人」って感じで語っていたけど、実際はやっぱりもっとやんちゃだったんじゃないかなって思う。 あと、篠原健さんのくだりは、ありがちな気もしたけど普通に感動した。			
	全部	205P (200分)	3-7	2010/06/17 19:32:22

akilu ☆☆☆☆☆	文章の上手下手、構成などに対する物言いは置いといて…。 ●頭ではわかっていても、故障からの復帰はやっぱり過酷だと思った。2軍調整が長いと、「あいつ生きてんの？」なんて言いかねない僕でしたが、これからはちょっと違う考え方できると思います。 ●金に目がくらんでみんな巨人に移籍するんだって思ってたけど、違うんだな。と気づく23歳の梅雨。 ●星5つは、清原という人物を全面肯定する意味ではない。過去の数々の問題はやはりどうかと思うし。だけどこの人のように、色々あった後でどれを思い出してもいい人生だったと言えるような未来に生きていたいと思う。 ●溢れてきた気持ちはたくさんあるはずなのに、こんなことしか書けねぇ。コメント枠が狭い！清原という男の人生を振り返って、感想が書ききれるはずがないよ。･ﾟ(p ´ □ ｀ q)ﾟ･。（責任転嫁） 追伸。ミーハー系ならまだしも、おっさん系野球腐女子は電車内で読むなかれ。 不覚にもちょいちょい泣きそうになって全然読み進められません。			
	all	188P (90分)	61-	2010/06/14 17:28:54

ditherman ☆	清原は野球の才能だけ恵まれたと思っているようだけど，良い人間と出会う才能が彼を成長させた最も大きな要因だと思う． いずれKKが揃って監督になる時がくるだろうが，果たして巨人はどちらを優先的に選ぶのだろうか？ ドラフトで裏切られて，クビで二回目も裏切られて・・・三回目があるような気がしてならない．			
	全部	205P (200分)	なし	2010/06/07 06:35:45

hk ☆☆	清原選手の野球に対する考えた方、野球人生について語られているとても読みやすい本であった。 有名人だけあって、聞いたことのある話や、本のうえでは同じことが述べられていることが多かった。 挫折した経験や桑田選手との関係など考えさせられる面もあった。			
	全て	188P (150分)	95-106	2010/06/01 13:03:59

ばっは ☆☆☆☆	反骨心を読んだらきっと反骨心が芽生えるだろうと予想していた。 しかし、番長清原の自分に謙遜しない文章は反骨心ではなく、一種の尊敬する得られた。 清原はとてもいいプレイヤーだったが、ただ残念なところは清原がジャイアンツにいたということだけだ。			
	全て	188P (120分)	前半	2010/05/25 10:50:08

かずT ☆☆☆☆	清原和博は常に憎しみで野球をしていた． 憎しみの先はPL高校で共に闘った桑田，ドラフトで裏切られた巨人，そして当時の監督の王であった． リトルリーグからプロ入り後も西武で順風満帆の成績を残していた清原であったが巨人にFAで移籍した後，大きな挫折を味わう． 清原は挫折を通じて確かに成長した．			
	1-205	205P (180分)	115-130	2010/05/10 21:19:45

ぼるてぃー ☆☆☆☆	プロフェッショナルとはどういうことか？野球に限らず、お金をもらって仕事をすることの意味を考えることができます。自分のために自分が働くことには限界があるのだと思います。感謝こそすれ、です。就活の前に必読の一冊？？			
	3-7,18-205	188P (120分)	39-41,81-82,150-152	2010/05/06 18:22:48

	あまり野球には詳しくないのですが、ところどころに出てくるメッセージには共感できるところが			

komu ☆☆☆	多く楽しめました。ジャイアンツとタイガースの選択時の意思決定の方法（「最悪の状況」の創想像）は参考にしたいです。			
	41-152	111P (30分)	48、102、151-152	2010/04/27 11:30:22

上場亮 ☆	清原が引退して最初に出た「男道」という本と内容がまるかぶりです。まぁ清原ぐらいの選手だったらいろんな出版社から執筆依頼がくるとは思うが、安易に本を書かないで欲しい。僕は清原は大好きだが、ドームでとんぼをファンが歌いながら打席に向かう清原のままのイメージでいて欲しい。 ちなみに清原はろくに勉強もしていないっぽいので、文章下手です。			
	全部	205P (150分)	68-70	2010/04/17 22:12:48

どかべん太郎 ☆☆☆	PL学園の主砲として甲子園5回連続出場、西武ライオンズへのドラフト1位での入団、そして新人王獲得、通算525HRとスター街道を歩んできた清原和博。その順風満帆と思われがちな彼の人生に起こった数々の挫折。 そんな挫折を乗り越えてきた清原の精神力の強さや考え方、桑田の存在の大きさ、プロであることの意味がよくわかる本。 とても読みやすい本です。			
	3-205ページ	203P (120分)	152－156	2010/04/16 13:48:21

TOPへ

ナビゲート！日本経済

著者名	脇田 茂	発行年	2010年
出版社名	ちくま新書	ページ数	237ページ
値段	798円	ISBN	978-4480065285
コメント	メリットその１ グラフがいっぱい→最新データを使ってリアルタイムの分析 メリットその２ お医者さんごっこ→わくわく （ぇ		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
nao ☆☆	後付け感は否めないが、景気を人間、経済政策を医療にたとえて説明する点はわかりやすかった。今後の日本経済に必要な点として筆者がまとめている結論は、「そのためにどーすんだよ！！」と言いたくなる。			
	1-52 , 241-243	55P (45分)	17－22	2010/08/17 13:12:41
弟子 ☆☆	表紙のクマに腹が立つ。 経済の本質を錯覚せずに探るため、さまざまな経済事象に対して「処方」「診断」「治療」といった単語を用てお医者さんごっこすることで、ぼやけて見える経済事象を身近に読ませようとする書き方は興味深い。 しかし、良くも悪くも経済学（特にマクロ）の本。 きっと経済学を生の道と心酔し殉じていく人にとっては、「現実を使った教科書理論の具体例」なのだろう。 残念ながら万人の途では非ず、エコノ・ロゴ・フォビアの私には「教科書理論を使った現実の具体例」にしかならなかった。			
	7-84	78P (20分)	?	2010/05/24 20:01:24
Unknown ☆	一言、つまらない。 「・・・ではないでしょうか。」「・・・と考えています。」など独りよがりで、根拠がない。そのくせ、上から目線でかかれており、続けて読む気になれず。 参考文献がすべて筆者の著作であることからも、独りよがりであることは明らか。 ※自分は、この本だけでなく、ちくま新書の本とはどうも相性がよくないようである（笑）			
	1-84,244-245	86P (30分)		2010/05/11 19:49:08
	最近出版された本ということもあり、近年のテーマも扱っています。			

あんのーーん ☆☆	図表、グラフが多く、２章以降は図を掻い摘んで読みました。 普段見ないグラフなどから読み取れることなどが知れ、興味深かったです。 個人的には前提知識に乏しく、身近でないため途中で諦めてしまいました。			
	はじめに～第二章、ところどころ図など	75P (45分)	図	2010/05/09 22:09:36

まー ☆☆☆	今の日本経済の状況が分かりやすく書いてありました。 グラフなども用いられているので、とっつきやすい本なのでは、と思います。			
	1-84	84P (60分)	76-80	2010/04/20 12:52:10

ＴＯＰへ

未来思考

著者名	神永正博	発行年	2010年
出版社名	朝日新聞出版	ページ数	260ページ
値段	1,680円	ISBN	978-4023304888
コメント	少子化やら格差進行やら、今の日本がどうなってるか。次から次へとグラフをスライドショーのように映し出しながら、そこからどんな結論が引き出せるかを、さくさく語ってゆく。 ん？ 今ちょいとゴマかさなかった？ プロのみなさんは、そんな意地悪な構えで聞きましょう。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
かーたか ☆☆	統計と言いながら内容はとても簡単であったので、読みやすかった。 モダニティが「～と思う」とか「と予想される」のような曖昧なものばかりで読んでいて少し不快になった。統計だけで詰め切れないのは分かるが。 そして少子化についてはなぜ阻止する必要があるのだろうかという疑問も浮かんだ。年金問題とかのためなら子供は増えた方がいいが。それよりも都市部に人口が集中しすぎることの方が問題で、少子化になっても過疎部に人口が移動することの方が効果があるのではないか。			
	1-148	148P (150分)		2010/08/18 12:30:33
牛タン手工業 ☆☆☆☆	サクサク読めて理解しやすかったです。 やはり数字で示されると分かりやすいと感じるのは理系だからかもしれません。 統計の扱い方が理解できて参考になりました。			
	1章～4章	114P (200分)	98-126	2010/07/26 14:48:39
yuigawa ☆☆☆	読みやすく、さくさくとページを進められるのだけど何だかあまり頭に残らない。基本的には取り上げている議論が興味深いから退屈にはならないけど、語り口に新鮮さがやや不足していたような。統計の技法に精通しているわけではないので、クオリティ的に問題があると指摘はできないが。 関東大震災のリスクについての第６章は個人的興味と合致して、それなりに集中して読めた。			
	全部	260P (130分)	第6章	2010/07/18 22:22:51
ditherman	この本，改行して間に1行空白をとった次の段落は，話の飛躍が生じている可能性大. 個人的には“都会は強力な磁場”が気に入った．統計素人なので勉強になる. なぜ人は都会に集まるか？専門用語出されれてなんとなく納得してしまったけど，でも直感的には			

☆☆	結局仕事あるから，大学あるから…の方が単純で万人に通じる言い方の様な気もする.			
	全部	260P (300分)	都会は強力な磁場	2010/06/30 21:17:10

maaa ☆☆☆	グラフが多用されているのでわかりやすい。			
	1-96,266-274	105P (60分)	266-274	2010/06/29 00:35:18

1412 ☆☆☆☆	文体が読みやすくて楽だった。普段感じている事と統計からわかる事が違っていた所がいくつかあった。			
	1-260	260P (180分)		2010/06/24 12:39:15

つて ☆☆☆	ほんとにサクサク進んでいく本。 社会学的な視点で見たら、最近の話題（少子化・晩婚等々）をうまく説明していてナルホドと思わせる。 ただ、データの使い方があやしく見えてしまう。 専門家の方、ぜひコメントください			
	全部	274P (100分)		2010/06/22 11:01:46

富士駿河 ☆☆☆☆	ほぼ毎ページ出るグラフや増減図に押され、ゴマかした部分を探そうとしても思考や分析が追いつかない。危ない危ない。 一言で「少子化」と言っても、色々な原因や影響が見られることに興味を感じたが、それも見るグラフや考察によって大きく変わるのかもしれない。やはり、真実を知るのは一筋縄ではいかないだろう。			
	14-170ページ	157P (105分)	14-43ページ	2010/06/16 14:32:57

an ☆☆☆☆	最後の一文「日本には間違いない技術力はあります。足りないのは制度のイノベーションなのだ」 統計をしっかり見せられているので、説得力があります。 専門的な統計手法をざっくりと解説してくれて、読みやすいです。 データの読みかたを教えてくれます。			
	pp97-pp269	173P (150分)	pp171以降	2010/06/08 13:04:35

どかべん太郎 ☆☆☆	少子化や高齢化をはじめとする社会問題について、豊富なデータや分析を用いて考察している。論拠（データ）がしっかりあるため飽きないし読み応えがある。 夫の収入が、第二子、第三子の出生率を説明する変数として効いてこないのは意外だった。			
	14－43	29P (30分)	32－33	2010/06/07 14:33:50

ピアノはじめました。 ☆☆☆	人口問題、失業、グローバル化… タイトル通り、時代の大きな流れについて考えるいいきっかけになる。 目の前の仕事に追われ、社会の変化の中で自分がどう変わらなければいけいないかに気付けなくなることの危険性も感じ取れた。			
	all	260P (120分)	第8章	2010/05/21 23:40:07

atom ☆☆☆☆	統計に基づいた解説で現在日本で問題になっていることが、普通にニュースで見るより勉強になった。			

	13-44	31P (20分)		2010/05/18 10:20:22

Coppet ☆☆☆☆	「結婚しません？」という章題にひかれて読み始めました。 統計を用いて、新たな視点を切り開いているように感じました。 結婚と地震の話は結構面白く読めましたが、全体的に表面をなぞっているような感じで、これだけページ数があるならもっと深くやってもよいのではないかと思いました。 広く、浅くという感じです。			
	46-237ページ	192P (150分)	46-76ページ、150-170ページ	2010/04/27 12:46:45

くま ☆☆☆	統計はそれ自体でも説得力があるが、 使い方次第では更に発展的な内容が考察できる。 理系の学生として楽しく読め、また統計の扱い方の いい勉強になりました。			
	1-43	43P (60分)		2010/04/26 14:45:48

c nd ☆☆☆☆	現在社会問題として取り上げられている分野を、データを使ってわ説明しています。 当たり前のように問題視されていることが、そもそも本当に問題なのか、ということも踏まえて書かれていました。 図も多くてあまり頭を使わなくて読める本でした。 個人的に印象に残ったのは、30年前は国立大学の授業料が年間たったの3万円だったということです！			
	1-125,240-268	153P (120分)		2010/04/17 14:46:16

TOPへ

日本人の知らない日本語１・２

著者名	蝦蔵＆海野凪子	発行年	2009年
出版社名	メディアファクトリー	ページ数	100ページ
値段	880円	ISBN	978-4840126731
コメント	国際交流最前線。 日々コレ疾風怒濤のナギコ先生とご一緒にどうぞ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
みぃたん ☆☆☆☆☆	面白かった。知らない日本語がたくさんあった。日本語塾ってこんなにおもしろいのかな…覗いてみたくなった。			
	２巻	100P (100分)		2010/08/24 10:02:58
くらげ ☆☆☆☆☆	この本大好きで、母が買ってきたのを奪い取っていろんな人に貸してます（笑） お気に入りはジャックさん。 「次おめもじ叶う日を楽しみにしております。○○もお疲れの出ませんように」 が一時マイブームでした。			
	１巻と２巻	100P (100分)	ぜんぶ！	2010/08/19 00:16:55
kyk ☆☆☆☆	外国人が、日本語を話すということは、日本人とは別の見方で日本語に接するってことで。 見方を変えてみると物事はどうしてこんなに面白くなるのだろうと思う。			
	２巻すべて	154P (60分)	全部	2010/08/18 16:09:57
nao ☆☆☆☆	とてもおもしろく、読みやすい本。 普段気付かない日本語の一面を知ることができた。 何であっても、当たり前のことを説明するのは難しい。			
	1-100	100P (30分)		2010/08/17 15:51:31
マカロニぺんぎん	意外と日本語のことを知らなかったんだということを確認させられるのと、外国人の面白い着眼点に笑わされました。立ち読みポイントは「しゃもじ」についてのくだりです。昔も今も流行を作り			

☆☆☆☆☆	出すのは女性なんだな、と感じました。			
	全部	100P (180分)	1巻106-109p	2010/08/16 23:35:44

布団が敷いてある ☆☆☆☆	普段気にしない日本語の細かい部分を指摘していてなるほどね，と思った．本編も面白いですが各章終わりの４コマ漫画が特におススメ！！			
	２巻全部	100P (45分)	各章の終わりにある４コマ漫画	2010/08/11 14:39:58

かーたか ☆☆☆	や、これふつーに笑える。 しかし、細かい所まで多分歴史的知見に基づいたツッコミとかが入っていて、クオリティの高さを感じられる。 日本語の成り立ちをこんなにもあっさりと、そしてざっくりと知ることができる。			
	1-100	100P (20分)		2010/08/11 03:14:22

wax ☆	日本語について漫画で描いた本。 漫画にする意味がよくわかりませんでした。			
	8-72	65P (30分)		2010/08/10 11:38:20

Solar ☆☆☆☆	外国人の方々が、日本語をどのように勉強しているのか、とても興味がひかれました。			
	2のほう。	100P (100分)	全般的に。	2010/08/08 15:39:13

おれ ☆☆☆☆	敬語の部分は大変参考になりました。 この本を読んで、留学生を注意深く見てると 「畳化」がすすんでいる人もいるようですね。 いやー「畳化」しちゃうよねー知らないうちに まいったまいった			
	2巻 1-118p	118P (60分)	21-29p	2010/08/02 14:39:34

hk ☆☆☆☆	日本語の難しさと普段感じていない面を考えることができた。 イラストもかわいくて、笑えるところも良かった。			
	2巻全部	100P (100分)	64-72	2010/07/27 15:09:57

ポチ ☆☆☆☆	読み出すと止まらないので、一冊全部立ち読みポイントかもしれません。 個人的には、裏表紙を見ておでんが食べたくなりました。そして1巻を読んでいないので、「あのよろし」の謎が解けません。			
	2巻全部	100P (120分)	「畳化したと思うとき」	2010/07/16 07:31:00

サカサカ ☆☆☆☆	日本語の知らない知識がありすぎてびっくりした．ホントに将来，日本語を学んでいる外国人の方に日本語について質問する日が来るかもしれない…			
	1巻all	100P (60分)		2010/07/13 12:28:57

	面白いなぁと思って読みつつも、はて、自分が英語を学習していたときはこれ程探究心を持っていただろうかと思ってしまった。			

鍋工房 ☆☆☆☆				
	2巻 all	100P (40分)		2010/07/10 23:13:28

かずT ☆☆☆☆	「しゃもじ」の語源はギャル語だった？ 日本語学校に通う外国人からの日本語に関する質問が漫画で紹介されている. 海外からの視点で見ると自分たちの文化や言葉の新しい一面が見えるのだと改めて実感した.			
	全部	141P (60分)	99ページ	2010/07/09 09:21:15

RKJK ☆☆☆☆☆	漫画なので読みやすく、また勉強にもなる本 途中にある漢字の読み方を聞く問など一つもわからなかった 外国人のほうが日本語が上手いと言われないように日々意識して正しい日本語を使っていくようにしようと思った			
	1,2巻	100P (90分)		2010/07/07 15:53:00

B4たかし ☆☆☆☆☆	全部さらっと読めてしまった。 しかし日本語の先生って大変だなあ、日本人よりよっぽど訊きたがりだし、日本語って本当に奥が深いし。 えええっ、外国人って電話で相槌打たないの！？意思疎通できんの？？			
	2巻 〇〇八-一五八	151P (40分)	どこからでも！	2010/07/06 11:51:59

ドナルド ☆☆☆☆	日本語が母国語で良かった. こんなわけのわからない言語を，外国語として勉強せずに済んで.			
	1	140P (30分)		2010/07/03 16:11:20

Unknown ☆☆☆☆	はじめの 先生「立って言ってください」 生徒「た」 の部分で爆笑。 日本語ってむずかしい（苦笑） 笑いながら読む一方で、こういったふとしたことを疑問に思うことが、社工の人間には必要なのかなと思ったり・・・			
	1巻	100P (25分)		2010/06/29 10:38:46

ukayare ☆☆☆☆	確かに面白い。まさに日本語でおk状態。 英語圏の学者の方々は日本人が描いた英語の論文誌などを読んで爆笑しているそうです。それと同じ感覚なんだろうね。 ずっと「あのよろし」だと思ってたんでちょっと恥ずかしかった…キャッ (／ー＼*)			
	１巻	100P (20分)	〇六三～	2010/06/24 21:24:37

みぃたん ☆☆☆☆☆	本当に、知らなかった日本語の勉強になりました。 ちょっと物知りになりました。 外国人の生徒と先生とのやり取りが、楽しかったです。			
	２巻	100P (70分)		2010/06/24 09:38:24

Apollo ☆☆☆☆	こりゃ日本語できない俺は怒られるな			
	1巻	100P (20分)		2010/06/22 12:48:10

chocolate ☆☆☆☆☆	一人で大爆笑して研究室の人に怪しまれました。 当たり前に思っていることってなかなか説明できないな。 ぜひ一読を！			
	1-141	141P (20分)	ぜんぶ	2010/06/21 19:05:41

富士駿河 ☆☆☆	確かに面白かったが、日本語の知識よりも留学生の驚きの方が印象に残ってしまったような気が…。自分にもう少し落ち着きが必要かも。 もし僕が海外で外国語を学ぶときも、素直に笑い、怒り、泣き、驚いてみようかな。			
	2巻 2-157ページ	100P (40分)	64-67ページ	2010/06/16 14:38:54

牛タン手工業 ☆☆☆	とても読みやすく面白かったです。 研究室の留学生に日本語を聞かれる機会が多く、日本人の僕でもわからない質問が多くて困っていたのですが、この本を参考にしたら答えられ非常に参考になりました。 そのあとこの本を読みながら日本語のおかしなところをたくさん指摘され困ってしまいましたが。 笑			
	1巻	100P (50分)	２章	2010/06/15 15:00:54

栃木のイベンター ☆☆☆☆	とても読みやすかったです. 留学生たちのずれた（ときに的を射た）質問はおもしろい. 特に敬語のところでは私自身も勉強になり，就活のためにも敬語学ばなきゃと思った.			
	1,2巻	880P (60分)	1巻第3章	2010/06/15 10:13:43

Asagi ☆☆☆☆☆	蚊と鳩と鴉と猫、共通点はなんでしょう？ 答えは漢字。 ぶんぶん（文）飛ぶから蚊。クークー（九）鳴くから鳩。ガーガー（牙）鳴くから鴉。 じゃあ猫は？ ミョウミョウ（苗）鳴くから猫。 ひとつの文化を学ぶのは、「何故、こうなのか？」の繰り返し。 それは合理的なものもあるし、そうじゃないものもある。乗り越えてこそ、自分のものになる。 留学生さんそれぞれが持つ自分の常識と、日本の常識との真剣勝負ですね。			
	ぜんぶ	100P (30分)	どこからでも	2010/06/15 03:18:37

ピアノはじめました。 ☆☆☆☆	日本語学校で学ぶ人達がこんなに面白いとは。 間違った日本語を、彼らなりに考えて使う姿はどこか清々しい所がありました。だから逆に、自分も他国の言葉を使うときは失敗を恐れずに、自分なりにどんどん使っていこうと思えました。			
	all	100P (30分)	１巻 96-98	2010/06/12 19:09:55

ふり太郎 ☆☆☆☆	留学生の真剣さが伝わってくる中での言い間違いがすごく面白いです。日本語の先生も、日本語を教えるだけでなく、意外に認知されていない言葉の起源なんかも知っていなければならなく、その苦労が垣間見えました。そして、自分にも勉強になりました。			
	2巻	100P (30分)	畳化のところ	2010/06/08 18:44:25

Mr.Crazy	カタカナって簡単なのに外国の方からしたら難しいいんですね. それはともかく決定ボタンとキャンセルボタンが逆のコントローラーでPSしたくないです.

☆☆☆☆				
	全部	100P (120分)		2010/06/08 12:54:42

海老ちゃん ☆☆☆☆	とにかく、外国人の方々のピュアな言動がほほえましくて素敵です。 日本語はもちろん、生徒のお国柄も理解できてためになりました。 室町時代の宮中の女房が、なんかギャルっぽい（笑）			
	1巻 すべて	100P (60分)	96-99	2010/06/07 19:11:22

ぼくらのコブラ ☆☆☆☆☆	研究室の机に座りながらイヤホン付けて、一人くすくす笑ってました。			
	全部	100P (60分)	全部	2010/06/07 14:48:10

ditherman ☆☆☆	留学生エピソードが可愛かったので，実際僕が体験したエピソード紹介します. ドイツ人留学生のRさんが「ボケとツッコミ」について教えてほしいって言われて，面倒くさいと思いつつも 「片方の人が嘘のことを言って，もう片方の人がなんでやねんってツッコムこと」 って説明したら 「どうしてそれが面白いんですか？」 って言われた．説明するのが本当に難しかった.			
	全部	100P (70分)	なし	2010/06/07 06:52:16

chicken-run ☆☆☆☆☆	意外にためになる本 単なるほのぼの系の漫画かと思いきや、日本人でも意外に知らない日本語の使い分けや単語の起源が解説されていてちょっと勉強になった。まさにタイトルに恥じない本である。			
	全部	100P (90分)		2010/06/06 23:33:30

どかべん太郎 ☆☆☆	日本語の由来とか使い方はもちろん文化の違いまで描かれてて面白い。 留学生は“猫缶”を猫の肉だと思うのか…			
	全部	100P (60分)	106-109	2010/06/03 20:30:34

ぼるてぃー ☆☆☆☆☆	立ち読みポイントでは今はやりのパワースポット、神社の作法が学べます。日本語の勉強にはもちろんなりますが、外国文化の勉強にもなります。外国人が自分の国の文化をバックグランドに日本語を学ぶので、その姿勢に違いがでているのが面白い。			
	２巻 全部	100P (60分)	２巻50-57ページ	2010/06/03 20:14:31

sky ☆☆☆☆☆	授業中に読んでいながら笑ってしまった。堪えきれませんでした。 日本語でもこれだけ知らないことがあるんだなと、面白楽しく読むことができました。個性豊かな外国人に奮闘する先生、実際はこんなに楽しいことばかりじゃないと思いますが、真剣に取り組んでいるからこそ笑い話がより一層引き立つんだと感じました。 多分俺よりこうやって勉強している人たちの方が敬語が使えるんだろうなと、ちょっと反省。 自分でこの本を買おうか悩み中です。			
	1，2巻	100P (70分)	カバーの折りたたまれた部分（あのエリアって何て呼ぶんだろう？）	2010/06/03 16:08:55

	文化の違いは言葉で顕在化する.			

スズキ ☆☆☆☆	東工大の留学生は日々このような困難にぶちあたっているとは，普段ふつうに日本語を使っている私たちには想像もつかない. マンガで読みやすかったです.			
	all	100P (20分)	22-25	2010/06/03 10:26:01

ろしあ ☆☆☆☆	外国人からみた日本語の不思議なところ。 今まで気付かなかったところがいっぱいあった。 それにこの本マンガ形式でギャグ要素ありでおもしろい。 日本語ってよくよく考えてみるとおもしろいなぁと。 言葉って生きてるんだぁと。 おもった。			
	2を全部	159P (60分)	開いたところ	2010/06/01 12:56:29

なかま ☆☆☆☆	友達が日本語教師やっているので似たような話をよく聞きます。 こういうのって「当たり前」を客観視できるようで面白い。 立ち読みポイントの○×が日本と欧米は逆って初めて知った！ あと、90ページに100均が載っているけど、以前日本に遊びに来た友達が100均でお箸セットを大量買いしていたのを思い出しました。			
	全て	100P (30分)	50-51	2010/05/31 16:06:17

DAIKINエアコン ☆☆☆☆	予想通りといえば予想通りのお話. 日本人が日本人であるがゆえに気づかぬ日本語の特徴をつく4コマは，笑いながら読めて楽チン. 内容にはあんまり関係ないけど，日本語学校の先生がとても仕事を楽しんでいそうで素敵な雰囲気を感じた.			
	全部	100P (30分)	各章最後の外国人がお土産にしたいもの	2010/05/30 22:03:51

あんのーーん ☆☆☆☆☆	さくさく読めるので、息抜きに全部読んでも大した時間がかかりません。 知らない起源や使い方がいっぱいあったり、「そこ？」って部分を真剣に聞く留学生などが、微笑ましく面白かったです。 ずっと読みたかったので手に入ってよかったです。			
	全部	100P (40分)	全部	2010/05/30 18:53:27

akilu ☆☆☆☆☆	絵がかわいい。 日本語学校ていうともっとおカタい勉強の仕方だと思っていたが、思ったより、日常生活に則したことばを教えているんだなぁ 新しい流行語とかは否定しない方だけど、間違いと知りながら間違っている日本語を使っている自分をちょっと反省。 あれに似てるね。えーとほら、小さい子どもが近くに居るときは、車が来てなくても横断歩道の信号はちゃんと守ろう、的な？			
	all	100P (90分)		2010/05/28 12:27:30

asce ☆☆☆☆☆	おススメです。 電車等周りに人がいるときは注意が必要。 笑いをこらえるのが大変です。			
	全部	100P (100分)	全部	2010/05/27 15:56:52

ushiushi ☆☆☆☆☆	電車の中でもにやついてしまった。 絵もかわいい。 外国人の日本語に対する視点が違うので新鮮だった。			
	すべて	100P (50分)		2010/05/27 12:56:15

mnts ☆☆☆☆☆	漫画としても面白いし、ことばや文法の由来の話は実に勉強になります。 自分は正しい日本語を使えているほうだと思っていたのですが、「を」の発音は「WO」が正式だとこの歳まで信じ切っていました。思い込みって怖いですね。 日本語に自信がある方も実は色々と勘違いしていることがあるかもしれません。この機会に是非ご一読を。			
	all	100P (60分)	1巻p.39	2010/05/25 22:56:45

オレンジ ☆☆☆☆☆	話題の本ですが、本当に面白いです。 志を持って日本に来ている人々の日本に対する思い入れの強さがよく分かります…強すぎてちょっと気持ち悪くも感じますが(笑) まぁでも日本のことを好きでいてくれるのはありがたいことですね。			
	全て	100P (60分)	1巻 pp.64-67	2010/05/25 13:16:31

上場亮 ☆☆☆☆	勉強に疲れて、研究室で深夜に呼んだりすると、ちょっと笑えます。 リフレッシュにおすすめ。			
	全部	100P (60分)	82-83	2010/05/25 12:59:19

ばっは ☆☆☆☆☆	本屋で立ち読みできるいい本 これは面白い。 中でも一刊がおすすめ。 マンガや映画こそ日本の学生に必修にするべきでは？と思う。 楽しいエピソードに笑いながらも、日本語をしらない自分が少し恥ずかしくなる本。			
	すべて	100P (180分)	畳化	2010/05/17 22:58:51

ひまじん ☆☆☆☆☆	タイトルの通り，日本人の私でも知らない日本語や日本語にまつわる知識が色々と出てきました．近頃，言葉を単なるツールとして考える機会が多かったのですが，やはり，言葉と文化は密接に関わっているのだなということも再認識しました．日本語学校での面白エピソードがかなり笑えます．			
	全部	100P (80分)	1巻 22-34ページ	2010/05/17 21:40:14

つばくろう ☆☆☆☆☆	最近よく本屋に並んでいるのダーリンは外国人、オタリーマン系のマンガ。何よりもまず変わった外国人がいっぱい登場してとても面白かった。彼らの国の変わった文化、日本の変わった文化がいろいろな国の人と比較することでわかりとても為になった。 日本では常識なことが他の国ではアブノーマルだったりするんですね。			
	１、２巻全部	100P (50分)	全部	2010/05/16 23:10:57

WHISKYMAN ☆☆☆☆☆	日本人によく使われている間違った敬語なんかが紹介されてるのかなと思って読んでみたが、内容は日本語教師の体験談という感じ。国籍や文化、価値観が違ういろんな生徒達がいて、日本語を学ぶ理由も様々で、各々が抱く疑問も異なるし、日本に対する誤ったイメージを持っていることだってある。そしてそういう生徒を相手にしていく中で先生もいろんなことに気づかされる。異文化交流の奥深さを感じることができた気がする。言語を学ぶってシンプルなことではないなと思った。			

	２を全部	100P (40分)		2010/05/16 20:21:44

rs ☆☆☆☆☆	日本語の奥深さが伝わってきて面白かったです。意外と日本語をよく知らないものだと思いました。			
	全部	100P (90分)	全部	2010/05/13 18:01:19

atom ☆☆☆☆☆	立ち読みして読めた。 外国人は考えたこともなかったことを考えるから面白い。			
	全部	100P (30分)		2010/05/13 06:57:05

hulk ☆☆☆☆☆	p.7はつぼにはまりました．日本の文化も外国に比べれば変ってると思われるんですねー.			
	1巻 全部	100P (30分)	1巻 p.7	2010/05/10 20:29:46

komu ☆☆☆☆☆	「敵（とも）に塩を送る」は笑いました。全般的に面白い内容なのですぐに読み切ってしまいました。お勧めです。			
	1-159	159P (40分)	38	2010/04/30 17:09:22

7boys ☆☆☆☆☆	どこでもいいから、とりあえず３ページ読めば面白さがわかる。 日本人よ、読め！			
	2をall	100P (40分)	どこを読んでも面白い	2010/04/28 10:19:48

まー ☆☆☆☆☆	普段使っている日本語の難しさ、面白さが分かります。 先入観のない外人の方の発想力がすごかったです。 サクっと読めるので、お勧めします。			
	全部	100P (30分)		2010/04/27 13:02:32

ｃnd ☆☆☆☆	敬語には自信があったのですが意外と間違った言葉を使っていてショックでした・・・ あと、目上の人に対して「がんばって下さい」は「お疲れの出ませんように」ってのは初耳でした。 面白かったです！			
	1-100	100P (25分)		2010/04/24 17:56:09

溪華 ☆☆☆☆	日本語は難しい。同じハナでも意味が違ったり。日本語を学ぼうとする外国人には、日本語を普段何気なく使っている私たちには分からない苦労がたくさんある。当たり前すぎて意味を気にもしない言葉を、外国人は懸命にその意味を考えている・・・ 面白可笑しい中でも、日本として、言葉のことちゃんと考えなきゃと思わせてくれます。			
	すべて	100P (20分)		2010/04/22 17:45:06

maaa ☆☆☆☆☆	留学生の珍エピソードに笑えるだけでなく、敬語の使い方など、ためになるエピソードもあり、おもしろかったです。日本語について少し勉強してみようかなと思うようになりました。			
	全部	100P (80分)	8-15	2010/04/21 11:01:56

	毒気のない絵柄で表されたよりすぐりのネタが素晴らしい！微笑ましかったり、感心したり、一度

yuigawa ☆☆☆☆☆	手に取ったら飽きずに終わりまで読むふけってしまうこと請け合いです。『遠まわしに訊ねるレッスン』の存在など、普段なんとも思わずにしゃべってる日本語に対していろいろと考えさせられました。			
	全部	100P (45分)	全部！特に92-99ページ	2010/04/20 00:49:48

g2oma ☆☆☆☆	敬語は難しいです！！外国の友達の話が思い出して笑いながら読みました。			
	1	100P (120分)	36-44	2010/04/16 23:45:10

たざわ ☆☆☆☆☆	私自身日本語学校に教育実習に行ったのですが、ここまで面白い学習者さんたちはいなかったです。登場する外国人学習者たちの日本に対する愛情が伝わってくるとても面白い本です。あまりに面白いので、人がいる場所や図書館で読むのは避けたほうがいいです。			
	全部	100P (40分)		2010/04/16 22:16:46

ボム ☆☆☆☆	普段日本語を使っていると気づかない日本語の楽しさ、素晴らしさをたくさん教えてくれます。少し幸せになれます。おもしろいです。			
	全部（100P)	100P (40分)		2010/04/15 15:39:11

k.k.t ☆☆☆☆	２を読みました。日本語の言い間違いや外国人が日本人に対して持っている先入観などが面白く描かれていて、かつまじめな文法の話なども書いてあるので勉強になりました。			
	全部	100P (30分)	どこからでも	2010/04/13 18:03:33

マシュ ☆☆☆☆	外国人生徒の何気ない疑問とかが、自分でも分かってるつもりだけど実は理解してなかったものは勉強になったし、ツボにはまって風ツウに笑ってしまったものもありました。 サクッと読めるので普通にオススメです。			
	全部	100P (40分)	137ページ	2010/04/13 17:45:51

ＴＯＰへ

47都道府県 これマジ？条例集

著者名	長嶺超輝	発行年	2009年
出版社名	幻冬舎新書	ページ数	215ページ
値段	819円	ISBN	978-4344981508
コメント	おもしろ本だから、自分でおもしろネタを見つけたもん勝ちです。よーいどん！ しっかし、おっぱい都市とか、がばいばあちゃん課とか、たしかに「これマジ!?」だよなあ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
マシュ ☆☆☆	ちょっと信じられないような条例がたくさんあって面白かった。あと、目次でついつい168-171ページが気になってつまみ読みしてしまって、我ながら情けないです。			
	1-82,168-171	86P (60分)	168-169	2010/08/18 16:31:33
ひまじん ☆☆☆	タイトルのとおり、「これマジ！？」と思うような条例がいくつもあった。こんな条例をいい大人たちが何人も集まって真面目に議論しているのかと思うと・・・。著者のコメントもときどき面白い。			
	1-150	150P (120分)	116,117	2010/08/13 02:23:33
ぼくらのコブラ ☆☆	条例をつらづら列挙しただけで 著者の意見やらコメントが薄い気がする・・・ 着目は面白いのに ひーねりなさい			
	第２章	30P (10分)	う～ん・・・	2010/08/11 16:01:08
上場亮 ☆☆☆☆	息抜きと話題作りには持って来いの一冊。			
	1-215	215P (120分)		2010/08/06 15:40:53
まー ☆☆☆☆	色々な条例がいっぱい。 確かにマジ？って思ってしまうようなものもありました。 でもきっとお偉いさん方が真剣に考えて作ったものだから、いいものなのかな？			

	1-215	215P (150分)	116	2010/08/06 15:20:40

B4たかし ☆☆	akiluさんのコメントにもあるけれど，著者のツッコミがいまいち． 地方分権に関する考え方もちょっと合わない・・・． 各都道府県ごとにいくつか条例をピックアップしているからか冗長な印象を受ける．テーマごとに分けてくれればもっと読みやすかったんじゃないかなー． チラッと暇つぶしに読むには最適かもしれない．どこからでもオッケー． 何処から読むか迷ったら，光市のおっぱい条約から読んでみましょう．			
	1-104	104P (80分)	どこからでも	2010/08/05 15:12:26

ろしあ ☆☆	母校の中学では肩掛けカバンを登校時は右肩に下校時は左肩にかけるという、変な校則があったことを思い出した。 とりあえずおっぱい条例からみてみた。条例作りの基本はノリと勢いなのか？			
	168-171,190-221	34P (30分)	168	2010/07/20 11:45:11

かずT ☆☆	条例がざっくばらんに並べてある． 116ページの地球環境保護宣言なんかは鳩山さんが見たら喜びそうだけど，ちょっと読むのが遅かったかなと思います．			
	83-124 168-169	44P (15分)	116ページ	2010/07/07 17:00:18

Apollo ☆☆☆	まあ、こんなもんだろう・・・ 短くまとまっている、というより羅列に近いので暇なときにちょくちょく読む分には悪くないんじゃないでしょうか			
	1-222	222P (60分)		2010/07/05 19:24:46

akilu ☆☆	話のネタ仕入れを期待して読んだのが悪かったのか… タイトルでハードルあげすぎたのか… 着眼点も内容も面白いのに、コメント文が気に食わない。 あなたのツッコミはどうでもいいッス。よしうまく言えたとか思ってるのかな…まさかね（´д`） ひきこまれなくておっぱいまでたどり着けなかった。 立ち読みポイントはオススメ。粋だよね。条例なのに、もー。			
	近畿地方まで	150P (60分)	p82コラム	2010/07/05 16:00:56

chicken-run ☆☆☆	電車内での暇つぶしに最適な本 そこそこ面白く文章も簡単で、さらには内容が都道府県ごと市町村ごとにくっきり分かれているので、読むことが中断されがちな電車内で読むのに最適でした。			
	全部	215P (50分)		2010/06/28 17:00:30

Coppet ☆☆☆☆	各地域の特色が出ていて面白い。 町おこし的な意味合いも含んでいそうで、出身地への愛着が湧きそうなものも多い。 でもおっぱい都市に住みたいとは別に思わないなあ。			
	全部	215P (100分)	帯にひかれたなら168ページ	2010/06/15 11:31:30

komu ☆☆☆	いろいろな面白い条例が紹介されています。 条例にはそれぞれの地域特有の事情が反映されており、制定された経緯などを想像しつつ読むと楽しめると思います。 海外ですが、死亡を禁止する条例があることに驚きました。			
	9-225	217P (90分)	150	2010/06/08 11:06:04

なかま ☆☆	・栃木県のサル餌付け禁止条例 違反者は氏名を公表されるらしいです。日本人は罰金よりも、氏名公表の方が「恥ずかしい」との感覚が働いて効き目があるかも。という著者の意見に同意。 ・愛知県の地球環境保護宣言 「まさかのイングリッシュ」らしいです。日本語の全文に続き、英訳が添えられているようですが、著者曰く「わざわざ英語で書き直して、国際的に問いたださねばならないほど、この宣言の中に目新しい内容が含まれているかどうかは疑問」とのこと。…形から入るのも大事ですよね！			
	54-82,116-124	38P (15分)	58-59,116-117	2010/06/03 13:56:32

maaa ☆☆☆	自分の住んでいる地域に変な条例がなくてほっとしました。			
	54-82	29P (15分)	なし	2010/06/01 12:44:37

Mr.Crazy ☆☆	読みやすそうなタイトルなのでささっと読んでみたものの，特に印象に残るようなものもなく，いまいちでした. 自分の出身県の兵庫県の条例を見てみるものの，大阪空港に関する条例で兵庫県だけどなんか微妙でした.			
	24-221	198P (120分)	なし	2010/05/25 09:23:08

Solar ☆☆☆☆	思わず笑いがでてしまうような条例や宣言も、各自治体などが真剣に取り組んできたからこそ産まれるもの。 条文などを見ていくと、自治体の真剣さがわかります。 ちなみに、立ち読みポイントはぜひ比較しながら読んでいただきたい。 同じような名前の条例でも、都市によって性格が異なることが良く分かるはずです。			
	ぜんぶ。	225P (160分)	50ページと68ページ、104ページと184ページ。	2010/05/23 21:04:32

mnts ☆☆	全部読んだわけではないですが、タイトルから想定するほど面白い条例はないように思いました。 都道府県が作っているものだけあってやはり常識の範囲内。 気になる都道府県だけさっと読んで、へ～と思うくらいでいいと思います。			
	関東・近畿周辺	60P (30分)	出身県	2010/05/11 15:12:15

ushiushi ☆☆	面白い条例もあったけどそうでないものが多かった印象。 ただすぐ読めるので量の足りない人におすすめ。			
	1-225	225P (200分)	なし	2010/04/26 18:56:36

RKJK ☆☆☆	全部読むと少し大変かも。今回の授業の趣旨である濫読には非常に向いていると思うので、目次で面白そうな条例を探して読んでみるのもいいかも			
	1-225ページ	225P (180分)	160,168ページ	2010/04/20 13:03:14

どかべん太郎 ☆☆	おっぱい都市宣言 「おっぱい」何と温かく、優しい言葉でしょう。まちとともに輝くことを夢見て、ここ光市を「おっぱい都市」とすることを宣言いたします。 ってどないやねん。			
	1-222	222P (180分)	168-169	2010/04/19 12:37:12

海老ちゃん ☆☆☆☆	紹介される条例・宣言の体裁は、お固いものからポエム系、方言、英訳付きまで、多種多様となっているのでパラパラ見るだけでも面白いと思います。 条例の内容は、思わず顔がほころぶもの、なるほど！と納得させられるもの、などなど。 これらを読み、市町村が持つ等身大のユニークさ・気概に触れることで、その場所へ行ってみたくなってしまうのが不思議です。			
	9-82, 116-124, 164-188	108P (100分)	168, 169	2010/04/14 13:02:51

TOPへ